

本庄市行政改革大綱実施計画(平成30年度～平成34年度)

平成30年度 上半期進捗状況報告書

平成30年11月

本 庄 市

基本方針【1】 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動	1	封筒・はがき等郵便物発送の際の担当課の所在フロア記載	収納課	7	企画課	6
		2	ナンバーディスプレイ対応電話機の導入	収納課	8		
		3	防災意識を高めよう	危機管理課	9		
		4	窓口事務の改善	市民課	10		
		5	保険課窓口における番号発券機の導入	保険課	11		
		6	何が必要なのか理解できる通知	保険課	12		
		7	市内関係施設案内マップの作成・配布	保険課	13		
		8	市内関係施設の案内	健康推進課	14		
		9	拡幅道路の完成後のイメージ図を使ってPRしよう	道路管理課	15		
		10	建築行為に係る窓口業務をリストアップ！	建築開発課	16		
		11	窓口で対応中であることがわかる表示	建築開発課	17		
		12	身近な水道水のことを知ってもらおう	水道課	18		
		13	下水道施設の定期的な点検とパトロール	下水道課	19		
		14-1	市民が訪れたいくなる児玉総合支所	総務課	20		
		14-2		環境産業課	21		
		15	窓口サービスの向上のための6箇条	市民福祉課	22		
		16	市民の関心に応える議会	議会事務局	23		
No.2	市民のための申請書様式等の見直し	1	送付先住所変更手続きの簡略化	障害福祉課	25	企画課	24
		2	印鑑が必要な手続きの整理	保険課	26		
		3	申請等様式の改善	建築開発課	27		
		4	給水装置工事申込み手続きに係る事務改善	水道課	28		
No.3	インターネットでの申請手続きの検討	1	インターネットで税務証明の申請受付	課税課	30	情報システム課	29
		2	インターネットで公共施設の利用予約	生涯学習課	31		
		3	インターネットで公共施設の利用予約	体育課	32		
No.4	窓口体制の在り方の検討	1	収入印紙の販売	会計課	34	企画課	33

実施項目2 国際交流の推進

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.5	国際化に対応した窓口・手続案内	1	外国人市民にも安心して利用してもらえる、分かりやすい市役所にしよう！	秘書課	36	秘書課	35
		2	市作成刊行物の多言語配信	秘書課	37		

基本方針【2】 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.6	ICTの有効活用	1	ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底	広報課	39	情報システム課	38
		2	eLTAX 利用率の向上！	課税課	40		
		3	タブレット端末の活用	課税課	41		
		4	ホームページを見やすく掲載！	環境推進課	42		
		5	市民への情報（公共機関からのお知らせ）をホームページに見やすく掲載	商工観光課	43		
		6	道路の維持・保全のための効率化	道路管理課	44		
		7	市民の皆さまから寄せられる情報の共有	道路整備課	45		
		8	市有地図情報をホームページで公開	都市計画課	46		
		9	職員の窓口業務量低減改革	建築開発課	47		
		10	ホームページで適正な情報発信	建築開発課	48		
		11	統合型GIS（屋外広告物）の一般公開	建築開発課	49		
No.7	庶務業務等の効率化	1	議会提出資料等のペーパーレス化（庁内配布分）	財政課	51	情報システム課	50
		2	文書保存の見直しとキャビネットの整備	保険課	52		

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.8	業務マニュアルの充実	1	「支払処理マニュアル」の有効活用	会計課 監査委員事務局	54	企画課	53
		2	意識改革・情報共有で個々のレベルアップ	会計課	55		
		3	窓口業務のマニュアル化	農業委員会事務局	56		
		4	窓口業務のマニュアル化と職員間の共有	学校教育課	57		
		5	埋蔵文化財の窓口業務の改善	文化財保護課	58		
		6	図書館マニュアルの改訂	図書館	59		
No.9	庁内連携体制の強化	1	企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置	産業開発室	61	企画課	60
		2	地方債研修会の開催	財政課	62		
		3	監査だって怖くない！契約手続き適正化プロジェクト	財政課	63		
		4	情報セキュリティ内部監査員の拡充	情報システム課	64		
		5	徴収職員事例研修会の開催	債権回収対策室	65		
		6	福祉窓口の多チャンネル化	地域福祉課	66		
		7	児童センターにおける備品購入費の弾力的運用	子育て支援課	67		

		8	障害と介護の相談記録の共有ファイル化	介護保険課	68		
		9	公園施設マネジメントの推進	都市計画課	69		
		10	デザイン性のある現場作業着の着用で抑止力・職員の連帯感向上を実現	建築開発課	70		
		11	本庄市農産物PR	農政課	71		
No.10	市民意見の把握	1	分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！	広報課	73	企画課	72
		2	市民アンケートの実施手順を標準化、情報を集約化しよう！	企画課	74		
		3	窓口アンケートの実施	企画課	75		

実施項目3 職員の意識向上							
改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.11	勤務体制の見直し	1	朝型勤務の導入	行政管理課	77	行政管理課	76
		2	職員流動体制を利用しやすいものとする	課税課	78		
No.12	職員提案制度の活性化	1	職員提案制度の活性化	企画課	80	企画課	79
No.13	若手職員の人材育成と活用	1	本庄市高校生プロジェクトへの若手職員の参加（真の人材育成事業として）	都市計画課	82	企画課	81

実施項目4 民間活力の活用							
改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.14	民間委託等の導入	1	民間活力の積極的な導入	建築開発課	84	企画課	83
		2	職員の事務量削減	建築開発課	85		
		3	施設管理業務委託の見直し	総務課	86		

実施項目5 男女共同参画							
改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.15	男女共同参画の推進	1	女性の意見を広く取り入れて施策や業務に活かそう	市民活動推進課	88	市民活動推進課	87

基本方針【3】 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保	1	未利用財産の処分・貸付	財政課	90	財政課	89
		2	行政財産及び法定外公共物の運用と拡充計画	道路管理課	91		
No.17	様々な手段による自主財源の確保	1	聞いて納得。納めて安心。住みよい本庄市へ！	課税課	93	企画課	92
		2	寄附金（基金）の活用実績の見える化	広報課	94		
		3	口座振替推進キャンペーンの実施	収納課	95		
		4	ジェネリック薬品の利用促進により医療扶助の適正化・経費節減を図る	生活自立支援課	96		
		5	魅力ある市営住宅	営繕住宅課	97		
		6	学校給食残渣低減計画	教育総務課	98		

実施項目2 使用料・手数料等の見直し

改革プログラム		計画名		実行課	頁	取りまとめ課	頁
No.18	適正な使用料・手数料等の設定	1	手数料額が変わります	建築開発課	100	企画課	99

◇全体集計 101 頁

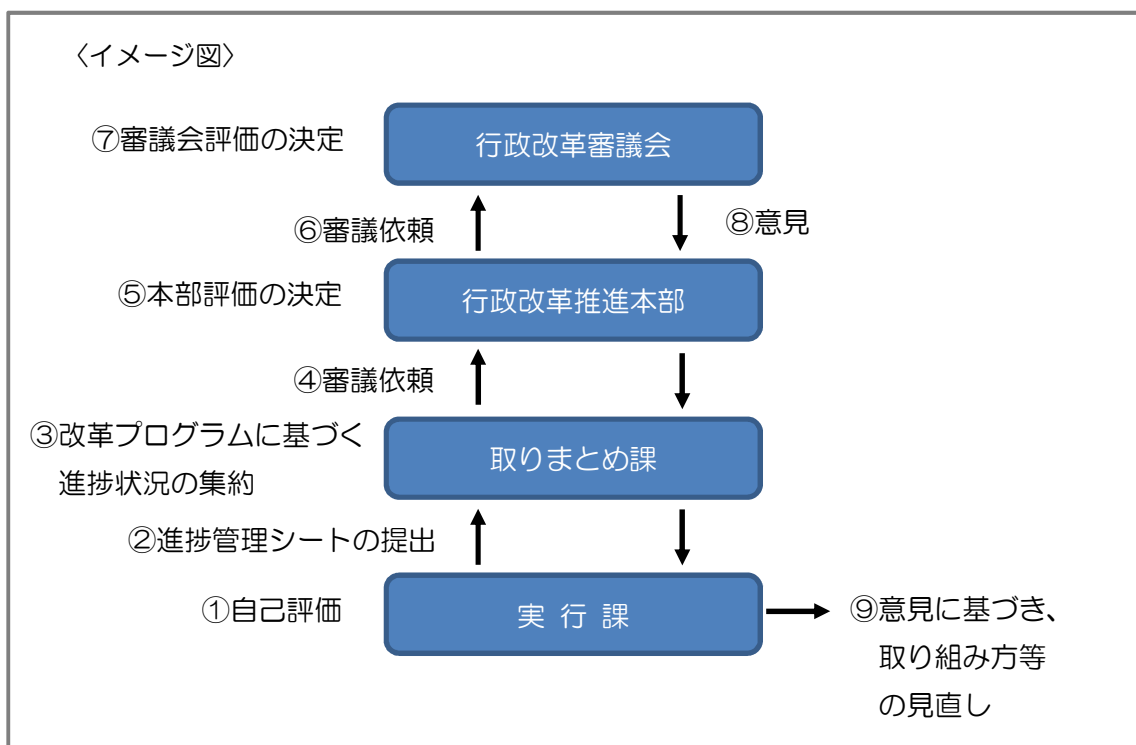
＜評価方法＞

（１）評価の流れ

各改革プログラムにおける行政改革の取り組みについては、実行課が取り組みに対する自己評価等を進捗管理シートにて報告し、取りまとめ課に提出します。取りまとめ課は、実行課から提出された各進捗管理シートを集約して、改革プログラムに基づく取り組みに関する進捗状況を、先ずは行政改革推進本部に報告します。

行政改革推進本部は、取りまとめ課からの報告に関し、取り組みに対する検証と推進本部の評価を決定します。

行政改革推進本部会議を経て、行政改革審議会に審議を依頼し、審議会による評価を決定します。



（２）自己評価の判定区分

自己評価区分		定義
達成	終了	改革の成果が得られたと判断し、改革を終了する
	継続	改革の成果が得られたと判断し、継続して実施する
実行中	順調	改革が順調に進んでいる
	再検討	改革を実行したものの、課題等があり、再度検討を行っている
	取り下げ	改革の達成が困難と判断し、改革の手段等を見直す
検討中		改革を実行する前の段階

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！>
 <実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内>

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
---------	------	-------------------

取りまとめ課	企画課	計画数	17
--------	-----	-----	----

計画名	実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1 封筒・はがき等郵便物発送の際の担当課の所在フロア記載	収納課	平成30年度	実行中(順調)	自己評価を支持
2 ナンバーディスプレイ対応電話機の導入	収納課	平成30年度～平成34年度	検討中	自己評価を支持
3 防災意識を高めよう	危機管理課	永年継続	実行中(順調)	自己評価を支持
4 窓口事務の改善	市民課	平成31年度	実行中(順調)	自己評価を支持
5 保険課窓口における番号発券機の導入	保険課	平成31年度	検討中	自己評価を支持
6 何が必要なのか理解できる通知	保険課	平成31年度	達成(継続)	自己評価を支持
7 市内関係施設案内マップの作成・配布	保険課	平成32年度	検討中	自己評価を支持
8 市内関係施設の案内	健康推進課	平成30年度	実行中(順調)	自己評価を支持
9 拡幅道路の完成後のイメージ図を使ってPRしよう	道路管理課	平成31年度	実行中(順調)	自己評価を支持
10 建築行為に係る窓口業務をリストアップ!	建築開発課	平成31年度	実行中(順調)	自己評価を支持
11 窓口で対応中であることがわかる表示	建築開発課	平成31年度	達成(継続)	自己評価を支持
12 身近な水道水のことを知ってもらおう	水道課	永年継続	実行中(順調)	自己評価を支持
13 下水道施設の定期的な点検とパトロール	下水道課	平成30年度	実行中(順調)	自己評価を支持
14-1 市民が訪れたいくなる児玉総合支所	総務課	平成34年度	実行中(順調)	自己評価を支持
14-2	環境産業課	平成34年度	実行中(順調)	自己評価を支持
15 窓口サービスの向上のための6箇条	市民福祉課	永年継続	実行中(順調)	自己評価を支持
16 市民の関心に応える議会	議会事務局	永年継続	実行中(順調)	自己評価を支持

<自己評価(H30中間)まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成(終了)	0	0%
達成(継続)	2	12%
実行中(順調)	12	71%
実行中(再検討)	0	0%
実行中(取り下げ)	0	0%
検討中	3	18%
計	17	100%

中間報告まとめ
改革実行前の検討段階の計画が3つありますが、すでに年度目標を達成している計画が2つ、また順調に取組みが進んでいる計画が12と、全体の進捗状況は概ね良好といえます。
備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	17	100%
指摘あり	0	0%
計	17	100%

本部意見
全計画について「自己評価を支持」とするが、計画No.14-1、14-2、15のような他課でも取り入れられる内容の計画については、効果を検証した上で、全庁的に取組みを波及させていくべきである。
※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	封筒・はがき等郵便物発送の際の担当課の所在フロア記載	
実行課	収納課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	市役所から発送する郵便物に担当課の所在フロアを表記し、来庁する市民が迷うことなく目的のフロアに行けるようにすることにより、分かりやすい市役所にします。
改革の手段	収納課が発送する封筒やはがきに「収納課（本庁舎・1階）」と所在フロアを表記します。
改革により期待される効果	○全庁的な取り組みとすれば、市民に親切的な市役所になります。 ○少ない経費（もしくは無料）で住民サービスが向上します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	①帳票校正（督促状など）②収納課で印刷する封筒など、新たな経費がかからないもので順次所在フロアを明記します。
中間報告	督促状や催告書の黄色い封筒などに所在フロアの記載を始めました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	今後、収納課で作成する封筒類にも所在フロアを印刷する予定です。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	ナンバーディスプレイ対応電話機の導入	
実行課	収納課	改革達成年度（目標） 平成30年度～平成34年度

内 容	ナンバーディスプレイ対応電話機の設置により、徴収事務の効率化につながるとともに、市民とのトラブルを避けることにより、好感をもたれる市役所にします。
改革の手段	必要性、重要性の高い部署からナンバーディスプレイ対応電話機を設置します。
改革により期待される効果	○市民と職員との間の電話番号に関するストレスが軽減され、住民サービスの向上や効率的な行政運営につながります。 ○収納率向上などの業務に関するプラスの波及効果が期待できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	回線確保に必要な基盤の増設について財政課と協議します。また、電話機本体についても企画課、財政課と調整を進め、平成31年度当初予算へ計上します。
中間報告	財政課と協議した結果、現在ナンバーディスプレイ対応の基盤に空きがなく即時対応が難しいこと、また現在の電話交換設備が平成29年2月から平成35年1月のリース期間のため、リースと買取が混入すると管理が困難な状況となることが判明しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	平成35年2月からの次回のリース契約時に全庁的にナンバーディスプレイ対応電話機を導入することが現時点では最適と判断し、検討を続けることとします。（財政課了承済みです）
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	防災意識を高めよう	
実行課	危機管理課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	自治会・自主防災隊等の実施する防災訓練等に、市職員等が同い、分かりやすい訓練・研修を実施します。
改革の手段	防災計画やハザードマップを活用した防災訓練・研修を実施します。防災ハンドブックを作成し活用します。
改革により期待される効果	災害に対する日頃からの備えや心構え、災害時の適切な避難行動についての市民の自助・共助意識の高揚が図られます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	自治会・自主防災隊等の実施する防災訓練等に、10回以上の参加を目指します。
中間報告	防災訓練等への職員参加・派遣の積極的な推進により、実施済が4回、実施予定が4回となっています。また、例年、市が主催する防災訓練や防災講座について、参加者年齢層に応じた内容の見直しや適切な開催時期の変更を行っています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	防災訓練への職員参加や出前講座による職員派遣について、市主催事業や窓口業務を通じてさらなる周知を図ります。また、見直しを行った訓練や講座について、アンケートの結果や担当職員が考える課題を整理し、今後予定する訓練や講座に反映します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持 下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	窓口事務の改善	
実行課	市民課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	平成28年度末から既にいる臨時職員が交替で窓口案内役をしていますが、申請書の記入の仕方や証明書の種類等が分からない来客者に対し、申請書の記載指導まで行っている状況です。窓口案内の事務に支障が出ているため、専属の記載指導者を配置します。
改革の手段	専属の記載指導者を1名（再任用職員可）配置します。
改革により期待される効果	来客への丁寧な対応、窓口事務の迅速化、窓口サービスの向上、再任用職員の勤務先確保につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	市民課の待合フロアに臨時職員を案内係と記載指導を兼ねて配置し、来客への丁寧な対応、窓口事務の迅速化、窓口サービスの向上を図ります。
中間報告	臨時職員が市民課の待合フロアで案内係と記載指導を兼ねて対応をしています。混み合う時期は、他の職員が案内をしています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	必要に応じ、二人体制で窓口案内と記載指導者を配置します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	保険課窓口における番号発券機の導入	
実行課	保険課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	保険課窓口での混雑時のトラブル等を未然に防ぐため、受付用番号発券機を導入し、受付方法を分かりやすくします。
改革の手段	番号発券機により受付方法を一本化し、受付順を明確化します。
改革により期待される効果	混雑時の混乱によるトラブルを予防し、市民のストレスの軽減が図れます。受付を一本化しスムーズに担当へ振り分けることで処理時間（待ち時間）の短縮を図ります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	番号発券機の導入に伴うコストを確認し、予算等の確保に努めます。
中間報告	番号発券機の見積りを業者に依頼し、検討を行いました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	希望とする妥当な発券機が見つからないため、継続して発券機の調査を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	何が必要なのか理解できる通知	
実行課	保険課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	分かりやすい日本語、簡潔な説明を心がけ、誰にでも理解できる案内を目指します。
改革の手段	行政用語をできるだけわかりやすい言葉に置き換え、不要な丁寧表現は省きます。外国人向けの通知には、通知の趣旨を簡潔に翻訳したメモ等を追加します。
改革により期待される効果	どのような行動が必要なのかを簡潔に伝えることで来庁・問合せ等につながり、通知の目的を果たすことができます。通知内容が簡潔に理解できれば市民の安心につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	通知等の文章を精査し、難解かつ過度に丁寧な日本語を見直します。
中間報告	通知内の文章は随時見直しを行い、理解しやすい文章を心がけています。相手方が外国籍の市民の場合には、必要に応じて要点を英語等でも記載し通知を行っています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	通知文書は常に作成されるものであり、見直しは随時行われるべきであるため、今後とも継続して精査を行っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	市内関係施設案内マップの作成・配布	
実行課	保険課	改革達成年度（目標） 平成32年度

内 容	市内関係施設の所在地と連絡先を簡便にまとめた地図を作成し、保険課の窓口を設置します。
改革の手段	市民から問い合わせの多い施設等をまとめた地図を作成し、保険課窓口を設置し問い合わせに対応します。
改革により期待される効果	窓口での案内がスムーズになり、市民サービスの向上及び業務の効率化が図れます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	窓口で問い合わせの多い市内の公共施設等の洗い出しを行い、効果的な地図の検討を行います。
中間報告	部内でマップ作成を進めている課があるため、その活用も含めて調整中です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	活用しやすいマップの作成を目指して検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	市内関係施設の案内	
実行課	健康推進課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	本庄市保健センター来所者に対して、他の施設の場所等をわかりやすく案内します。
改革の手段	本庄市保健センターを起点とした、「市内施設等一覧マップ」を作成します。
改革により期待される効果	窓口での案内がスムーズになり、市民サービスの向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	本庄市保健センターを起点とした、「市内施設等一覧マップ」を作成します。
中間報告	「市内施設等一覧マップ」の本庄地域版を作成し、本庄市保健センター来所者への道案内に使用しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	「市内施設等一覧マップ」の児玉地域版を作成します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応、行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	拡幅道路の完成後のイメージ図を使ってPRしよう	
実行課	道路管理課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	道路の拡幅整備後のイメージ図を作成します。
改革の手段	イメージ図を説明会や用地交渉、用地買収後の用地内（更地）に掲示します。
改革により期待される効果	イメージ図で周知することで地権者からの自主的な協力が得られたり、地元の方及び利用者に道路拡幅工事に関心を持っていただくことが出来ます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	わかりやすく、みやすいイメージ図を作成するため、原案を検討、作成します。
中間報告	市道5-826号線用のイメージ図の原案を作成しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	市道1-107号線用のイメージ図の原案を作成するとともに、作成後、現地にて掲示できるよう、準備を進めます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	建築行為に係る窓口業務をリストアップ！	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	来客者に建築行為に係る情報収集担当課を分かりやすくします。
改革の手段	○どの課が何を担当しているのかをリストにします。 ○関係各課の情報を集約し、タッチパネル等で公開します。
改革により期待される効果	○来庁者の時間の節約と職員に対する信頼が生まれます。 ○効率的な仕事の推進につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	指定道路管理システム（個別GIS）を統合型GISに移行する際、委託業務で効果的な方法を検討していきます。
中間報告	建築行為に係る関係部署別リストを作成して暫定的に窓口公開しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	窓口でのリスト表示を効果的に行う方法を検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針 1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目 1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	窓口で対応中であることがわかる表示	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	職員が来客者に親切・丁寧な対応・行動を心がけることにより、好感をもたれる市役所となるよう工夫します。
改革の手段	用件によって視覚的に分かりやすくするようにします。（例：色分けをした立札を渡しテーブルに立てるなど）
改革により期待される効果	一見して用件が分かり、待っている来客者に適切な案内ができ、安心感をいただき利便性の向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	用件によっての表示方法を検討していきます。
中間報告	係ごとの相談に応じ色分けした2種類の番号札を作成して来客者への対応を始めました。また、自席でのパソコン操作などで接客できないこともあるため、「接客中」の札を掲出できるようにしました。
中間自己評価	達成（終了・ <u>継続</u> ） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	窓口の状況を見ながら必要に応じてより良く改善していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	身近な水道水のことを知ってもらおう	
実行課	水道課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	水道に関する情報提供のため、水道事業独自の広報紙を発行します。
改革の手段	水道に関する情報提供を充実させるため、水道事業で独自の広報紙を発行します。また、有料広告スペースを設け、広報紙の発行にかかる経費負担の削減を図ります。
改革により期待される効果	将来にわたって持続可能な水道事業運営には水道使用者との信頼関係が不可欠です。水道に関する情報提供を充実させることにより、水道使用者との信頼関係の構築が図られます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	広報紙創刊号に向けて、水道使用者にわかりやすい広報紙の発行を目指します。
中間報告	現在、広報紙の創刊号発行に向けて掲載記事の素案を取りまとめています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	水道メーターの検針は2ヶ月検針の水道使用者が多いため、12月中に広報紙を作成し、1月と2月の検針の際に検針票とともに投函する予定です。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	下水道施設の定期的な点検とパトロール	
実行課	下水道課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	下水道施設について定期的に点検パトロールを行い施設の状態を把握することで、維持管理が容易となり、苦情や事故等の防止が可能となります。
改革の手段	点検チームを発足させ、定期的なパトロールを行い、故障、損傷、破損等の調査結果を収集してデータベース化していきます。
改革により期待される効果	蓄積したデータを基に、早急に対応する案件や長期的な計画での修繕計画がたてられ、安定した予算策定が可能となり、平準化した事業が可能となります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	定期パトロールの基準（調査方法、調査内容等）を策定し、点検作業を実施しながら本業務の確立を目指します。
中間報告	下水道マンホール蓋（汚水、雨水）を対象に巡視点検を実施する計画を策定しました。8月中旬から開始しガタツキや破損等の異常を確認した調査結果を下水道台帳（マッピング等）に記録しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	○実施している巡視方法や時期について、課題等を整理し効率化を図ります。 ○点検結果を来年度予定のストックマネジメントに活用するため準備を始めます。 ○点検結果を基に新年度予算に反映していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	市民が訪れたくなる児玉総合支所	
実行課	総務課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	○職員皆が市民に親切・丁寧な対応・行動を心がけることにより好感をもたれる市役所となるよう体制を整えます。
改革の手段	○コンシェルジュ（市役所業務案内人）を配置するなど検討します。 ○常に市民の立場に立ち親切・丁寧な対応・行動を実践します。
改革により期待される効果	○市役所に対する市民からの信頼が生まれます。 ○市民から頼られる職員になります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○来庁された市民に、笑顔で積極的に声がけをし、市民の「お役所」に対する苦手意識を、できる限り払拭できるように努めます。
中間報告	○笑顔と積極的な声がけを実践することにより、市民との間に信頼関係とコミュニケーションの充実が確立され、より質の高い市民サービスの提供ができていると考えます。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	○小さな困り事でも気軽に相談できるように、笑顔と声がけを絶やさず、常に市民に寄り添った対応ができるように努めて参ります。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	市民が訪れたくなる児玉総合支所	
実行課	環境産業課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	○職員みんなが市民に親切・丁寧な対応・行動を心がけることにより、好感をもたれる市役所となるよう体制を整えます。
改革の手段	○コンシェルジュ（市役所業務案内人）を配置するなど検討します。 ○常に市民の立場に立ち、親切・丁寧な対応・行動を実践します。
改革により期待される効果	○市役所に対する市民からの信頼が生まれます。 ○市民から頼られる職員になります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	来庁された市民に、笑顔で積極的に声がけをし、市民の「お役所」に対する苦手意識を、できる限り払拭できるように努めます。
中間報告	支所の業務は本庁の複数課に関わるものが多く、課名のみでは担当している業務が分からず、どこに相談して良いか戸惑うことも多々あると思われます。このため、市民の皆様が来庁された際は、迅速にお声がけをし、来庁目的や内容を丁寧に伺うことで、不安や苦手意識を払拭できるよう接客を行っています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	来庁時の迅速なお声がけは概ね全課員が実践しています。今後は緊張を取り除くための笑顔での対応、柔らかい言葉遣い、来庁した目的や内容の真意をくみ取るための傾聴、お役所言葉に頼らない説明に取り組んでいきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動	
取りまとめ課	企画課		
計画名	窓口サービスの向上のための6箇条		
実行課	市民福祉課	改革達成年度（目標）	永年継続

内 容	共通した接遇の心構えを身につけ、常にお客様から喜ばれる接客に努めていきます。
改革の手段	（仮称）「窓口の心構え6箇条」を掲示し、身につけ丁寧な接客。
改革により期待される効果	職員としての自覚が目覚めるとともに、市民に信頼される役所の実現、さらには、協働によるまちづくりの推進が期待されます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	まずは年度当初に「窓口の心構え6箇条」を職員から見える場所に掲示するとともに、一人ひとりが、その心構えを真に身につけ、接客に活かす取組を推進（励行）します。
中間報告	「窓口の心構え6箇条」を縦約60cm横80cm程度の紙面に記載し、職員全てが目視できる事務室窓口の上部に2枚掲示しています。来客者に対し、まずは笑顔と挨拶で出迎える習慣付けによる対応ができ、来客者の表情にも柔らぎと共に信頼感がうかがえます。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	継続して常に励行（習慣付け）することで、お客様から喜ばれる接客に努めていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針 1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目 1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	市民の関心に応える議会	
実行課	議会事務局	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	議会事務局で対応可能な議会情報の提供や窓口対応により、市民と議会との距離を縮めます。
改革の手段	議会事務局で保有している情報や、審議している案件等の積極的開示をしていきます。
改革により期待される効果	議会に対する関心が高まることにより、より市民の目線に立った議会運営が図られ、市民と議会との距離が縮まります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成30年度本庄市の議会ホームページアクセス数を前年度比10パーセントアップ。 平成29年度アクセス数14,372件（平成30年度目標 15,809件）。
中間報告	現在、ホームページ上の見たい情報に容易にアクセスできるよう、リンク先の整理、内容の整理等を行っています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	今後もホームページの整理とともに、ホームページに載せる情報の検討を行っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針１ 市民に分かりやすい市役所にしよう！＞
＜実施項目１ 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内＞

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
---------	------	------------------

取りまとめ課	企画課	計画数	4
--------	-----	-----	---

[illegible]

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	1	25%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	0	0%
実行中（再検討）	1	25%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	2	50%
計	4	100%

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	4	100%
指摘あり	0	0%
計	4	100%

中間報告まとめ

申請者の窓口負担の軽減と職員の事務効率アップの両方を実現できるように申請書の様式を改め、すでに目標を達成した計画が1つある一方で、課題（改元の問題）等により再検討を要する計画が1つ、課内検討や法律的根拠の洗い出しなど検討段階の計画も2つあり、年度末までの達成に向け下半期はより適切な進捗管理を図っていく必要があります。

備考

本部意見

全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
取りまとめ課	企画課	
計画名	送付先住所変更手続きの簡略化	
実行課	障害福祉課	改革達成年度（目標） 平成33年度

内 容	○窓口がある課等で送付先変更手続きの見直しを図ります。
改革の手段	○同一の内容を複数課で記入する必要がある送付先変更手続きを見直します。
改革により期待される効果	○手続きに要する時間が削減され、市民の負担が軽減します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○送付先変更手続きのある課の洗い出し（掲示板による照会等）。 ○共通様式へ向けた模索（試案を用いて各課の希望による標準化を図る）。
中間報告	課内で実施に向けた検討を実施しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	今後掲示板による照会を行い、対象となる課を確認し、送付先変更届について共通様式化に向けた調整を図ります。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
取りまとめ課	企画課	
計画名	印鑑が必要な手続の整理	
実行課	保険課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	印鑑が必要な手続きをなるべく減らし、事務の簡素化による窓口サービスの向上を図ります。
改革の手段	印鑑が必要な手続きについて、見直しを行い、事務の簡素化を図ります。
改革により期待される効果	市民の利便性が向上します。 窓口でのトラブルの減少により業務の効率化が図れます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	印鑑の押印が必要な事務において、法律的根拠の有無を確認し、見直しを行います。
中間報告	保険課取扱いの全申請書について、押印の根拠を洗い出し中です。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	制度改革により県内市町村の事務取扱いについて標準化を目指しているため、他市の状況も確認しつつ、見直しを行っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
取りまとめ課	企画課	
計画名	申請等様式の改善	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	建築手続きに係る各種証明書等（建築台帳記載事項証明書・建築計画概要書等の写し・道路位置指定図面の写し）の取得ニーズが高まり、迅速な事務処理に支障をきたしています。
改革の手段	来客者の求める書類を状況に合わせ申請（申出）書を改正します。
改革により期待される効果	来客者の窓口での負担が少なくなると共に、職員にとっても効率的な事務が可能となります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	本庄市建築基準法施行細則を改正します。
中間報告	申請（申出）者が各種証明書等を同時に取得する場合に対応できるよう統合した様式を定めました。
中間自己評価	達成（ <u>終了</u> ・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	改正した様式により効率的に事務が行われているか検証していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> 下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
取りまとめ課	企画課	
計画名	給水装置工事申込み手続きに係る事務改善	
実行課	水道課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	給水装置工事の申込み書類作成時の手引きである「給水装置工事設計施工基準」に対する理解度を深めます。
改革の手段	○施工基準の内容修正を行います。 ○施工基準の要点を判りやすく解説する配布資料を作成します。 ○代表的な複数の申込み事例に基づく作成例を配布資料として作成します。
改革により期待される効果	書類の作成不備を減らし、審査に要する時間が削減されます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	「給水装置工事施工基準」の内容修正を行い、平成31年4月1日版を発行します。
中間報告	内容の見直し作業は進めているものの、進捗状況は順調とは言えない状況です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	申請様式内の日付欄の元号が、来年5月の改元に合わせて修正が必要であるため、今年度中は基準の見直しまでとし、発行は改元後の来年5月以降とします。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針１ 市民に分かりやすい市役所にしよう！＞
＜実施項目１ 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内＞

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続きの検討
---------	------	-------------------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	3
--------	---------	-----	---

[illegible]

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	3	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	3	100%

中間報告まとめ
3計画ともに順調に進捗しています。施設予約システムについては文化施設も加わるので、今後は市民へのPR方法も重要だと考えます。
備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	3	100%
指摘あり	0	0%
計	3	100%

本部意見
全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続きの検討
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	インターネットで税務証明の申請受付	
実行課	課税課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	インターネットによる申請手続きを充実させていきます。
改革の手段	インターネットを利用した電子申請システムの導入で申請方法の充実を図ります。
改革により期待される効果	休日交付等の予約手続が役所の開庁時間外にも可能となるため、市民の利便性の向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	電子申請システムを導入している他市、他課を参考に導入に向け整備・検討します。
中間報告	税証明の電子申請システム導入状況を県内市町村で調査したところ、23市町村で既に導入済みです。導入市町村が様々な手法でシステム構築していますので、それらのメリット・デメリットを調査しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	市民の利便性の向上につながるような電子申請とするため、引き続き調査研究するとともに、関係各課と連携を図り、その方向性を決定し、年度内に現在本市で稼働している電子申請システムの項目に取り入れます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続きの検討
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	インターネットで公共施設の利用予約	
実行課	生涯学習課	改革達成年度（目標） 平成32年度

内 容	文化施設の利用予約（仮予約含む）ができるようにします。
改革の手段	平成31年3月の現予約システム更新時に、対象施設として本庄市民文化会館・本庄市児玉文化会館を追加します。
改革により期待される効果	空き状況が確認でき、利用予約（仮予約）ができるようになることで利用者にとって利用しやすくなります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成31年3月の現予約システム更新時に、対象施設として本庄市民文化会館・本庄市児玉文化会館を追加し、利用者が使用しやすいシステムになるようにします。
中間報告	6月に現予約システム更新のためのプロポーザルを実施し業者を選定しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	平成31年3月の稼働に向けて、利用対象施設に学校体育施設と本庄市民文化会館・本庄市児玉文化会館を追加し、利用者が使用しやすいシステムを構築するための作業を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続きの検討
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	インターネットで公共施設の利用予約	
実行課	体育課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	現在、体育館・球場・テニスコート・グラウンドのスポーツ施設に限られている予約システムに学校体育施設や文化施設を加えます。
改革の手段	他課と連携を図り、空き状況が確認でき、仮予約ができる施設を増やします。
改革により期待される効果	空き状況が確認でき、仮予約ができるようになるスポーツ施設が増え、また、新たに文化施設も加わり、利用者にとって利用しやすくなります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成31年3月のシステム更新時に学校体育施設と本庄市民文化会館・児玉文化会館の文化施設を加えます。
中間報告	6月に現予約システム更新のためのプロポーザルを実施し業者を選定しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	平成31年3月の稼働に向けて、利用対象施設に学校体育施設と本庄市民文化会館・本庄市児玉文化会館を追加し、利用者が使用しやすいシステムを構築するための作業を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

＜基本方針１ 市民に分かりやすい市役所にしよう！＞
＜実施項目１ 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内＞

[illegible]

中間報告まとめ	
上半期は必要な情報収集を行っている段階で、下半期は関係機関との調整を進めていく予定です。	
備 考	

本部意見
「自己評価を支持」とする。
※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.4	窓口体制の在り方の検討
取りまとめ課	企画課	
計画名	収入印紙の販売	
実行課	会計課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	収入印紙売りさばき所の指定を受け、収入印紙の販売を開始します。
改革の手段	収入印紙の販売を開始します。
改革により期待される効果	○パスポート交付時に必要な収入印紙と埼玉県収入証紙が市役所内で一括購入できることにより、市民の利便性が向上します。 ○買い受ける収入印紙の金額に応じた販売手数料が歳入として見込まれます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	収入印紙売りさばき所の指定を受けることを目指します。
中間報告	収入印紙売りさばき所の指定を受けるために必要な情報を収集しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	収入印紙売りさばき所の指定を受けるための手続や指定を受けた後の事務等について、本庄郵便局と調整を進めます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！＞

＜実施項目2 国際交流の推進＞

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内
---------	------	-----------------

取りまとめ課	秘書課	計画数	2
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	外国人市民にも安心して利用してもらえる、分かりやすい市役所にしよう！	秘書課	平成35年度	実行中（順調）	自己評価を支持
2	市作成刊行物の多言語配信	秘書課	平成35年度	実行中（順調）	自己評価を支持

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	2	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	2	100%

中間報告まとめ

市内在住外国人や、本市を訪れる外国人に対し、情報を分かりやすく伝えるために「外国人のためのくらしのガイド」など外国人向けの情報をホームページに掲載しています。今後は、多言語ユニバーサル情報配信ツールを用い、「広報ほんじょう」などの多言語配信を行います。また、他の市作成刊行物についても、関係各課と調整し、順次配信する予定です。

備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目2 国際交流の推進

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内
取りまとめ課	秘書課	
計画名	外国人市民にも安心して利用してもらえる、分かりやすい市役所にしよう！	
実行課	秘書課	改革達成年度（目標） 平成35年度

内 容	本市在住の外国人や転入した外国人に分かりやすいガイドブック等がなく、日本語を上手く話せない外国人が、何か市に聞きたいことがあっても対応する手段が限られてしまっています。
改革の手段	○外国人転入者及び住民のために、分かりやすい多言語の「暮らしのガイド」を活用します。 ○本市国際交流協会と連携し、通訳・翻訳ボランティア等の対応を現在よりも充実させます。 ○市保有の翻訳タブレットを活用し、1人で困っている外国人にも積極的に案内します。
改革により期待される効果	○本市在住や転入して来た外国人が、安心して生活することが出来ます。 ○外国人の方が必要な情報を取得しやすくなります。 ○外国人と日本人との交流が増え、多文化共生の社会が実現します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	外国人にも分かりやすい多言語化「暮らしのガイド」の活用。 本市国際交流協会との連携で、翻訳・通訳や外国人案内ボランティア活動の充実。
中間報告	英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語の「外国人のための暮らしのガイド」を作成し、本市ホームページ及び本市国際交流協会ホームページで閲覧できるようにしました。また、市民課、課税課等の窓口では、翻訳タブレットを活用し、日本語を理解できない外国人に対応しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	翻訳・通訳の依頼には、本市国際交流協会と連携して対応します。また、外国人案内ボランティアの活動を支援して、外国語（主に英語）による市内観光案内の依頼に対応します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目2 国際交流の推進

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内	
取りまとめ課	秘書課		
計画名	市作成刊行物の多言語配信		
実行課	秘書課	改革達成年度（目標）	平成35年度

内 容	外国人在住者に対して本庄市で生活するうえで必要な情報を配信する手段が限定されています。また外国人旅行者についても情報発信が充分にはされていません。
改革の手段	多言語化するソフトを導入します。
改革により期待される効果	市印刷物を多言語にて提示できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	「広報ほんじょう」「広報ほんじょうおしらせ版」を多言語配信。 国際交流協会発行の「ふれんど」「インフォメーション」等を多言語配信。
中間報告	多言語ユニバーサル情報配信ツール「MCCatalog+」を導入しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	「広報ほんじょう」「広報ほんじょうおしらせ版」及び国際交流協会発行の「ふれんど」「インフォメーション」等を多言語配信する予定です。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化>

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
---------	------	----------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	11
--------	---------	-----	----

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底	広報課	平成35年度	実行中（順調）	自己評価を支持
2	eLTAX利用率の向上！	課税課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持
3	タブレット端末の活用	課税課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持
4	ホームページを見やすく掲載！	環境推進課	平成30年度	実行中（順調）	自己評価を支持
5	市民への情報（公共機関からのお知らせ）をホームページに見やすく掲載	商工観光課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持
6	道路の維持・保全のための効率化	道路管理課	平成31年度	実行中（順調）	自己評価を支持
7	市民の皆さまから寄せられる情報の共有	道路整備課	平成31年度	実行中（順調）	自己評価を支持
8	市有地図情報をホームページで公開	都市計画課	平成31年度	検討中	自己評価を支持
9	職員の窓口業務量低減改革	建築開発課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
10	ホームページで適正な情報発信	建築開発課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
11	統合型GIS（屋外広告物）の一般公開	建築開発課	平成34年度	検討中	自己評価を支持

<自己評価（H30中間）まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	9	82%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	2	18%
計	11	100%

中間報告まとめ
検討中となる計画もありますが、概ね順調に進んでいると思われます。
備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	11	100%
指摘あり	0	0%
計	11	100%

本部意見
全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底	
実行課	広報課	改革達成年度（目標） 平成35年度

内 容	本庄市ホームページをウェブアクセシビリティ日本工業規格JIS X 8341-3：2016の要件に則り作成し提供します。
改革の手段	・ホームページシステムリニューアル時には移行ページをチェックし修正します。 ・ウェブアクセシビリティ日本工業規格JIS X 8341-3：2016対応チェック機能を導入しページ作成時に徹底を図ります。 ・職員研修を行います。 ・市HPにリンクのあるものについても同様のページ作成に努めるよう連携を図ります。
改革により期待される効果	高齢者や障害者などで身体の機能に制約のある人でも、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できるホームページが作成されます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	現在基準をクリアしていないページについて、見直しし修正を行うとともに、所管課に修正をするよう指導を行っていきます。
中間報告	広報課にて、ホームページの公開中ページのアクセシビリティチェックを実施しエラー箇所の削減に取り組んでいます。（9月末時点で3割程度終了）
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	広報課にて公開中ページのアクセシビリティチェックを終了させるとともに、連絡担当者会議やホームページの公開承認をする際の徹底などにより各課職員によるアクセシビリティに対する意識を高める取り組みを実施します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	eLTAX利用率の向上！	
実行課	課税課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	eLTAXの利用を推進することにより、事務の効率化を図っていきます。
改革の手段	税理士会等への働きかけ、ホームページへの掲載、市から発送する郵便物等に印刷することによりeLTAXの利用促進に努めます。
改革により期待される効果	○申告書等の受付及び点検作業に係る時間が短縮され事務の軽減が図られるとともに、時間外勤務手当に係る経費削減につながります。 ○パンチミスを防止することができ、適正な課税の実現につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	eLTAXの認知度を高めるPR活動を行うことにより、各申告書（年金支払報告書は除く）の利用率を3%増加させることを目指します。
中間報告	ホームページへeLTAXの利用を促進させるページを掲載するとともに、特別徴収税額決定通知書及び法人市民税申告書送付用封筒にeLTAXのロゴを印刷したものを使用して、eLTAXの啓発活動に努めました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	特別徴収税額決定通知書、法人市民税及び償却資産申告書を送付する際、eLTAXのPRチラシを同封します。給与支払報告書（総括表）にeLTAXのロゴを印刷し啓発活動に取り組みます。また、税理士会へ利用促進に向けた働きかけを行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 進捗管理シート

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	I C Tの有効活用	
取りまとめ課	情報システム課		
計画名	タブレット端末の活用		
実行課	課税課	改革達成年度（目標）	平成34年度

内 容	I C Tを積極的に活用することにより、事務の効率化を図ります。
改革の手段	タブレット端末に統合型G I Sを導入することについて検討を進め、窓口業務や事務執行での有効活用に努めます。
改革により期待される効果	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	関係各課と統合型G I Sの導入に向けた調査、研究を進め、タブレット端末の利用環境の整備に努めます。
中間報告	日々の現地調査にタブレット端末を持参し、現況の記録等に活用することによって、統合型G I S導入のメリットを調査するとともに、情報セキュリティの観点からも調査しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	タブレット端末の統合型G I S導入について、メリット・デメリットを整理するとともに、タブレット端末の利用環境の整備に向け、関係各課と調整します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	ホームページを見やすく掲載！	
実行課	環境推進課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	新しい情報を掲載するときに、自分がホームページを見る側の立場に立って作成にあたり、常に見やすさを意識しながら情報の更新に努めるようにします。
改革の手段	情報をフォルダごとにまとめ、必要な情報を探しやすくします。 申請書の記入例を添付し、記入の仕方を分かりやすくします。
改革により期待される効果	○ホームページの見やすさが向上し、情報が探しやすくなります。 ○検索しやすくなることで窓口への問い合わせが減り、職員の負担が減ります。 ○記入例を添付することで、記入漏れなどを防ぐことができ、窓口での時間短縮になります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	項目ごとにフォルダを作成します。 申請書の記入例を作成します。
中間報告	市の取組や情報をフォルダ分けすることで、見やすくしました。 各申請書の記入例を作成し、Q&Aや内容をまとめたチラシも同時に掲載しました。 また、一目で内容が分かるよう重要な箇所は太字にする等工夫しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	よりホームページを見やすくできるよう、引き続きフォルダの見直しや施策の取組実績を見やすく紹介する等レイアウトの更なる改善を検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	市民への情報（公共機関からのお知らせ）をホームページに見やすく掲載	
実行課	商工観光課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	関係機関の情報を整理して提供することで、市民サービスにつなげます。
改革の手段	関係機関のリーフレットやチラシ等を部門別目的別に分類し、ホームページに掲載します。窓口カウンター上のリーフレットチラシを、フォルダーなどを活用し、部門別目的別に分類して掲示します。
改革により期待される効果	窓口カウンターがすっきり片付き、お客様との対応に広く使うことができ、窓口対応の向上が図れます。必要または知りたい情報を、ホームページでもいち早く選択できるようになり、市民サービス向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	関係機関のリーフレットやチラシ等を常時200種類掲示しています。イベント等、期間のあるものは、ホームページで随時周知します。窓口カウンター上の制度周知リーフレットやイベントチラシも、部門別目的別に分類して掲示します。現存のチラシラックの半数は撤去し、来客用対応スペースとします。
中間報告	窓口カウンター上に煩雑に置かれていたリーフレットやチラシ等の整理を行い、来客用対応スペースを広く確保したことにより、お客様が窓口を利用しやすくなり、また、窓口の対応がスムーズにできるようになりました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	窓口カウンター上にある、イベント等、期間のあるリーフレットやチラシは、ホームページ上でダウンロードできるよう内容をアップして、紙媒体は撤去して行きます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	道路の維持・保全のための効率化	
実行課	道路管理課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	道路工事やJRの踏切工事などに伴い、道路の交通規制は市内の各所で随時行われています。この情報を市のHPを通じて発信し、市民や通行者に対し早期に周知を図ります。
改革の手段	HPのトピック画面に道路通行規制の情報のリンクを貼付けるなど、市民や通行者に対し周知を図ります。
改革により期待される効果	市民や通行者が早期に情報を入手することで、渋滞等が回避でき、利便性が向上します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	市のHPの環境、セキュリティなどの問題点を洗い出し対策等を検討します。
中間報告	HP環境、セキュリティ等に問題はありませんでした。工事通知書にある位置情報等を掲載し周知することができます。道路情報として道路管理課が掲載します。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	年間数十件出てくることもあり、掲載様式を決めて、効率よく掲載していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	市民の皆さまから寄せられる情報の共有	
実行課	道路整備課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	ICTを積極的に活用することにより、事務の効率化を図っていきます。
改革の手段	○事務の執行に効果的な様々なICTの導入を検討します。 ○統合型GISの有効活用を図ります。
改革により期待される効果	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	統合型GISに仮にレイヤーを作成し過年度の情報の搭載します。（仮運用していく）
中間報告	今年度より市民の皆さまより寄せられた情報（日付・場所・内容等）を統合型GISに専用レイヤーを作成し、記録しております。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	道路整備課内で専用レイヤーの操作方法等の周知を徹底し、情報の共有を図っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	市有地図情報をホームページで公開	
実行課	都市計画課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	○市で所有する地図情報のうち、公開できる図面については市ホームページで「本庄市マップ情報」としてひとまとめのページとして公開します。 （例：さいたま市「さいたま市地図情報」、深谷市「ふかやMAP」など）
改革の手段	○ホームページに「本庄市マップ情報」ページを作成します。 ○各課で公開できる地図情報（都市計画図・ハザードマップ等）を精査し上記ページで公開します。
改革により期待される効果	○市民等が本庄市の知りたい情報を自宅等で簡単に手に入れることができます。 ○ホームページで必要情報が得られれば、市民等は窓口まで来庁する必要がなくなるため、行政の業務負担も軽減されます。 ○欲しい情報以外の地図を「ついでに」閲覧することもあるかと思えます。そこで、興味を持ちそうな本市のPRの地図を掲載することで市のPRにつながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成29年度に修正を行っている都市計画図データのウェブアクセシビリティを調査するとともにデータを精査し、まずは都市計画図をホームページで公開できるか検討します。
中間報告	取りまとめ課である情報システム課に市有地図情報のホームページでの公開を検討しているか確認しましたが、検討予定は無いとの回答だったため、広報課にも確認したところ、公開の検討は行っていないが、H32にホームページのリニューアル予定であり、そのタイミングでの要望は可能であるとの回答でした。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／ <u>検討中</u>
今後の対応（年度中の取組）	地図情報の公開を希望する課を確認し、ホームページリニューアル時に公開できるように、協力して広報課に要望していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ＩＣＴの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	職員の窓口業務低減改革	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	建築確認業務に関する情報をＩＣＴを積極的に活用することにより、事務の効率化を図っていきます。
改革の手段	○窓口タッチパネルを導入します。 ○建築基準法上の道路種類を本庄市ホームページで公開します。
改革により期待される効果	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	指定道路管理システム（個別GIS）を統合型GISに移行し、合理的な方法による効率的・効果的な事務を推進します。
中間報告	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化のため、窓口タッチパネルを設置する委託業務を発注しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）／検討中
今後の対応（年度中の取組）	平成31年度からタッチパネルの使用開始に向け、受注者と調整を進めております。道路種別のホームページへの公開は、平成31年度以降に保守業務での対応を順次進めていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ＩＣＴの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	ホームページで適正な情報発信	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	市のホームページから建築に関する情報を入手する機会が増えてきました。情報が多岐にわたり、検索しにくく業者向けの複雑な情報もあるため、市民は難しく混乱してしまうことがあります。
改革の手段	○市民向けと業者向けの情報を二つに区分します。 ○市民向けの情報はなるべく「分かりやすく」、業者向けの情報は「簡便に入手」できるよう整理していきます。
改革により期待される効果	速やかで分かりやすい、そして確実に職員誰もが同じ情報を提供でき業務の効率的・効果的な改善が見込まれます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	ホームページの掲載状況を検証します。
中間報告	当課に関する掲載内容を検証しました。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ）／検討中
今後の対応（年度中の取組）	市民にも業者にも分かりやすいホームページの掲載内容を工夫して更新・継続していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調）・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ＩＣＴの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	統合型ＧＩＳ（屋外広告物）の一般公開	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成３４年度

内 容	ＩＣＴを積極的に活用することにより、事務の効率化を図っていきます。
改革の手段	統合型ＧＩＳの有効活用を図ります。
改革により期待される効果	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【平成３０年度 実施内容】

年度目標	平成２９年度に埼玉県から屋外広告物の許可事務が権限移譲されたため、様々な角度から研究していきます。
中間報告	まずは、屋外広告物に関する統合型ＧＩＳの有効活用を研究します。そのうえで、全庁的な公開を行う段階で、具体的な公開事項を検討していきます。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／ <u>検討中</u>
今後の対応 （年度中の取組）	情報システム課との調整を図りながら、屋外広告物に関する統合型ＧＩＳの有効活用を研究していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞
 ＜実施項目1 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用による事務の効率化＞

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
---------	------	-----------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	2
--------	---------	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	議会提出資料等のペーパーレス化（庁内配布分）	財政課	平成34年度	実行中（再検討）	自己評価を支持
2	文書保存の見直しとキャビネットの整備	保険課	平成34年度	達成（終了）	指摘あり（進捗管理 シート参照）

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	1	50%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	0	0%
実行中（再検討）	1	50%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	2	100%

中間報告まとめ
「議会提出資料等のペーパーレス化（庁内配布分）」については検証の結果、検討すべき課題があげられています。
備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	1	50%
指摘あり	1	50%
計	2	100%

本部意見
「文書保存の見直しとキャビネットの整備」の自己評価については、「達成（継続）」が適当である。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	議会提出資料等のペーパーレス化（庁内配布分）	
実行課	財政課	改革達成年度（目標） 平成34年度
内 容	議会提出資料等（予算・決算に関する議案及び議案資料等）について、紙ベースでの配布から電子データによる配布に切り替えることで、コスト削減と事務効率の向上、情報の共有を推進します。	
改革の手段	議会提出資料等の庁内配布分について、原則、電子データによる配布のみとし、ペーパーレス化します。	
改革により期待される効果	○印刷コストが下がり、経費削減・資源節約につながります。 ○印刷作業に充てていた時間を書類作成・内容チェックや内容の精査等、他の事務に充てられるため、事務効率が高まります。 ○全職員の閲覧が容易になるため、各職員の市の財政状況や所属課事業に対する理解が深まります。	

【平成30年度 実施内容】

年度目標	議会提出資料等のうち、各課配布分について、紙での配布から電子データによる配布に切り替えます。
中間報告	平成30年6月議会から議会提出資料等の庁内配布分について、電子データによる配布のみに切り替えました。このことにより、コストや作業量の節減及び全職員への情報共有の促進に繋げることができました。一方で、各課で個別に出力する印刷枚数が増加傾向にあることが課題となっています。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
今後の対応（年度中の取組）	今後も、ペーパーレス化を進めるとともに、議会提出資料等のうち、当初予算書などページ数の多いものについては、電子データによる配布に併せて、従来通り印刷したものを各課に配布した方が効率的かどうかなど、より効果的な方法について検証を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	文書保存の見直しとキャビネットの整備	
実行課	保険課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	4S運動を再認識し、保存文書の見直し、大量に使用する用紙等の保管場所の見直しとともに、キャビネット等の整備を行い、執務室の整理整頓を推進します。
改革の手段	1か月に一度執務時間内に職員全員で保存文書を見直し、電子データでの保管でよい文書や保存の必要のない紙文書は破棄し、保存スペースを確保します。大量に使用する用紙の残部はできるだけ倉庫で管理します。
改革により期待される効果	保存文書が探しやすく、業務の効率化が図れます。 働きやすい環境を整えることができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	電子データのみの保管でよい文書及び保存の必要のない文書の判断基準を見直します。
中間報告	全庁的なファイリングシステムの見直しがあったため、キャビネット内の整備は順調に行われており、不要な用紙類は倉庫で管理するなど保存スペースの確保に努めています。
中間自己評価	達成（ <u>終了</u> ・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	年度末に向け文書が増えるため、随時文書の整理を心がけます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見	下半期においても継続的に取組むべき内容のため、自己評価については、「達成（継続）」が適当である。	

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目2 効率的・効果的な庁内連携>

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
---------	------	------------

取りまとめ課	企画課	計画数	6
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	「支払処理マニュアル」の有効活用	会計課 監査委員事務局	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
2	意識改革・情報共有で個々のレベルアップ	会計課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
3	窓口業務のマニュアル化	農業委員会事務局	平成30年度	実行中（順調）	自己評価を支持
4	窓口業務のマニュアル化と職員間の共有	学校教育課	平成30年度	実行中（順調）	自己評価を支持
5	埋蔵文化財の窓口業務の改善	文化財保護課	平成30年度	実行中（順調）	自己評価を支持
6	図書館マニュアルの改訂	図書館	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持

<自己評価（H30中間）まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	6	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	6	100%

中間報告まとめ
現行マニュアルの内容精査や新規・改訂マニュアル案の作成等、全計画において取り組みは順調に進んでおり、全体の進捗状況は良好といえます。
備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	6	100%
指摘あり	0	0%
計	6	100%

本部意見
全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	「支払処理マニュアル」の有効利用	
実行課	会計課・監査委員事務局	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	「支払処理マニュアル」が職員に理解されやすい内容になっているかを見直すとともに、「支払処理マニュアル」の周知徹底を図り、職員が伝票を正しく起票できるよう実用性のあるものにします。
改革の手段	「支払処理マニュアル」や間違いやすい例を定期的に掲示板に掲載し、伝票起票する際の注意喚起を促します。
改革により期待される効果	○伝票の誤りが減少することにより、審査担当の会計課及び伝票起票担当課双方の負担が軽減され、事務の効率化に繋がります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	適宜「支払処理マニュアル」や間違いやすい例を定期的に掲示板に掲載し、伝票起票する際の注意喚起を促し、伝票誤りの減少を目指します。
中間報告	政府契約の支払遅延防止等に関する法律を遵守するため、支払日等について毎月掲示板に掲載しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	財務会計システム管理運用部会で協議した支払処理マニュアルを、掲示板に掲載する予定です。支払遅延がないよう、支払日等について掲示板に掲載していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	意識改革・情報共有で個々のレベルアップ	
実行課	会計課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	管理職の意識改革を進めることにより、伝票のチェック体制ができます。職員が財務に関する知識を身に着けることにより、伝票起票時の誤りが軽減します。
改革の手段	伝票起票に関するQ&Aをグループウェア内キャビネットに掲載します。必要に応じて、職員及び管理職を対象に説明会を開催します。
改革により期待される効果	○伝票起票に関するQ&Aを読めば、周囲の職員を巻き込むことなく疑問を解決することができるようになります。 ○説明会に出席することにより、情報を共有し、財務に関する知識を身に着けることができ、課の中で問題を解決できるが増えます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	伝票起票に関するQ&Aをグループウェア内キャビネットに掲載し、必要に応じて、職員及び管理職を対象に説明会を開催します。
中間報告	伝票起票に関するQ&Aをグループウェア内キャビネットに掲載しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	10月に開催される当初予算編成説明会で、会計課から伝票起票時の注意点について説明します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	窓口業務のマニュアル化	
実行課	農業委員会事務局	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	マニュアルに基づき事務処理をすることで、市民の方をお待たせしない対応を心がけます。
改革の手段	対応マニュアルを作成し、業務を行います。
改革により期待される効果	○担当者が不在でも、受付業務等を行うことができます。 ○効率的で迅速な事務処理を行うことができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	対応マニュアル集を作成し、それに基づいた受付業務を行えるようにします。
中間報告	担当者毎にマニュアル作成に取り組んでいます。ただし、農地法関連の法律が改正されることになり、新たな対応が必要となっている状況です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	年度中には受付用のマニュアルが完成となるよう進めていきたいと考えています。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	窓口業務のマニュアル化と職員間の共有	
実行課	学校教育課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	窓口業務をマニュアル化し、担当職員以外でもスムーズに窓口対応できるようにします。
改革の手段	業務の窓口マニュアルを作成し、職員間で共有します。また、職員間で定期的にそれぞれの担当業務に係る制度を学習します。
改革により期待される効果	○窓口対応が改善します。 ○職員間でお互いの業務を理解し、協力し合うことができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	学校教育課で行っている窓口業務を項目立て、業務ごとの窓口対応マニュアルを作成します。
中間報告	平成30年度より担当業務を交代し、職員間で担当業務を説明する場も設けました。お互いの業務内容の理解と共有化が進み、「担当者がいなくて対応できない」という事例が激減しました。窓口業務マニュアルは作成中です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	窓口業務マニュアルを完成させます。また、職員間で定期的に互いの担当業務を確認し合います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> 下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	埋蔵文化財の窓口業務の改善	
実行課	文化財保護課	改革達成年度（目標） 平成30年度

内 容	市民等が開発に伴う土木工事を行う際に、遺跡の範囲内等であれば法に基づいた書類の提出が必要ですが、工事の内容や事業者によって窓口に出す書類が異なるため、対応職員が誰でも分かりやすい説明を出来るように、窓口対応業務を改善します。
改革の手段	提出書類の不足や記入ミスのために、市民や代理人に追記や再提出を求めることがありましたが、必要に応じた的確な窓口説明をしたり、間違いやすいケースをまとめる等のマニュアルの整備によって、書類のやり取りを円滑化し、効率的な運営を行います。
改革により期待される効果	窓口受付業務を明確化し、提出書類の不足や記入誤りを防ぐことで、速やかな書類受理が可能となり、市民にとっては手続きが分かりやすく、手間が削減でき、その結果、工事着工時期を早められるなどの効果が期待できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	現在実施している窓口説明内容を精査することによりマニュアルを整備し、正確で効率的な窓口対応を実現します。
中間報告	窓口チェックシートを作成し、窓口業務で使用していますが、シートの問題点を随時確認し改正しています。その結果、申請書の記入漏れが多い項目を窓口担当者間で共有でき、受付時のチェックの精度があがったことにより、記載事項の不備の減少につながっています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	引き続き、チェックシートの改善を行います。また、窓口対応自体の精査により、これまで担当者によって若干の対応差があった項目（遺跡隣接時の対応）について、統一化のための内部メモを作成します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	図書館マニュアルの改訂	
実行課	図書館	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	図書館マニュアルを常に最新の状態とし、事務改善につなげていきます。
改革の手段	職員間の協議により作成します。
改革により期待される効果	市職員・臨時職員・委託職員ともに利用者への対応が統一的、かつ、効率的に行えるようになります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	図書館マニュアルの改訂を行い、カウンター業務マニュアルを作成することにより、職員間の情報共有を図り、日常業務の効率化を目指します。
中間報告	図書館マニュアルの改訂に向け、各担当が現行のマニュアルの内容について検討し、実情に沿っていない点や改善すべき点を列挙し、改訂案を作成しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	今後、各担当が作成した改訂案を、職員間の協議により精査し、図書館マニュアルの改訂を完成させ、臨時職員や夜間窓口の委託業者にも周知し、日常業務の効率化を目指します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目2 効率的・効果的な庁内連携>

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
---------	------	-----------

取りまとめ課	企画課	計画数	11
--------	-----	-----	----

計画名	実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1 企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置	産業開発室	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
2 地方債研修会の開催	財政課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持
3 監査だって怖くない！契約手続き適正化プロジェクト	財政課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
4 情報セキュリティ内部監査員の拡充	情報システム課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
5 徴収職員事例研修会の開催	債権回収対策室	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
6 福祉窓口の多チャンネル化	地域福祉課	平成37年度	実行中（順調）	自己評価を支持
7 児童センターにおける備品購入費の弾力的運用	子育て支援課	永年継続	実行中（順調）	指摘あり（進捗管理シート参照）
8 障害と介護の相談記録の共有ファイル化	介護保険課	平成31年度	検討中	指摘あり（進捗管理シート参照）
9 公園施設マネジメントの推進	都市計画課	永年継続	検討中	自己評価を支持
10 デザイン性のある現場作業着の着用で抑止力・職員の連帯感向上を実現	建築開発課	平成34年度	検討中	自己評価を支持
11 本庄市農産物PR	農政課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持

<自己評価（H30中間）まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	8	73%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	3	27%
計	11	100%

中間報告まとめ
ほぼ全ての計画において、庁内全体に関わる、または関係部署にまたがる業務等について、庁内会議や庁内研修会の開催、ワーキンググループでの協議をすでに実施、あるいは実施に向けた準備・調整を進めており、進捗状況は概ね順調といえます。
備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	9	82%
指摘あり	2	18%
計	11	100%

本部意見
「児童センターにおける備品購入費の弾力的運用」については、今後の手法について再検討が必要である。また、「障害と介護の相談記録の共有ファイル化」の自己評価については、「実行中（順調）」が適当である。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置	
実行課	産業開発室	改革達成年度（目標） 永年継続
内 容	新たな産業用地の創出に向けた調査研究や常に変化する民間の土地情報と企業ニーズのマッチング等に必要な、関係法令やまちづくりとの整合性を図る情報共有の場を設け、効率的・効果的な庁内連携を図るための仕組みをつくります。	
改革の手段	庁内の関係機関と定期的（年2回程度）な実務者レベルでの会議を開催し、課題解決のスピードを上げていきます（財政課、都市計画課、道路整備課、道路管理課、建築開発課、商工観光課、環境推進課、農政課、農業委員会、水道課、下水道課、文化財保護課など案件ごとに調整が必要な課・室・委員会が参加）。	
改革により期待される効果	○事前に庁内調整を図ることは、立地相談の円滑化や開発手続等のスピード化に即応でき、企業進出を後押しする結果に繋がります。 ○法的手続きの準備が円滑に進められ、事務負担を軽減する効果が期待されます。 ○企業誘致に投資する効果などの意識共有を図ることで、庁内の連携が高まることが期待されます。	

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○第1回会議を6月に開催（予定）。これまでにある民間土地情報等を提示しながら、企業誘致する場合の課題を整理していきます。 ○第2回会議以降、新産業用地の創出に向けた課題などの整理を行います。
中間報告	5月（8日、23日、25日）に新産業用地の創出や企業誘致を進めるうえでの課題整理を行うとともに、庁内関係課との情報共有を図り連携を高めるために、会議を開催しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	次回は10月に開催を予定していますが、その後についても、定期的を開催して行きたいと考えています。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	地方債研修会の開催	
実行課	財政課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	地方債の種類や活用方法について、全庁的に情報を共有することで、市にとって有効な地方債の活用、計画的な事業の実施及び財源の確保につなげていきます。
改革の手段	年1回、地方債を起債する事業を扱う課を中心に、全庁的な研修会を開催します。
改革により期待される効果	○職員の地方債の活用及び財源確保に関する意識の向上につながります。 ○有効な地方債の活用の際し、担当課において必要な事前準備等を行うことができ、確実な活用が図られます。 ○予算編成や執行時の書類作成及び確認作業の効率を高め、正確性の向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	予算編成前に全庁的な研修会を開催し、研修会の内容を踏まえた、効果的な予算計上を実施します。
中間報告	地方債制度、活用の意義・目的、活用できる地方債メニューや注意事項等をテーマとした、全庁的な研修会の開催に向けて準備を進めています。
中間自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
今後の対応（年度中の取組）	平成30年10月4日に、平成31年度の当初予算編成説明会と併せて全庁的な研修会を開催する予定です。研修内容を予算編成に活かすことで、有効な地方債の活用を図り、財源の確保につなげると共に、公債費の負担の平準化等についても考慮するなど、中長期的な目線のもと安定した財政運営に努めていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）／実行中（順調・再検討・取り下げ）／検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	監査だって怖くない！契約手続き適正化プロジェクト	
実行課	財政課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	契約手続きの適正化を推進していくことで市民に信頼される市役所をつくります。
改革の手段	各課に1人以上の契約適正化推進委員（仮）を置き、研修を行うことで契約手続きを適正かつ円滑に運用できる体制を築きます。
改革により期待される効果	推進委員を中心に各課で取り組むことで、全庁的に契約手続きの適正化に対する意識の醸成を図ることができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○職員向け研修を開催し、契約手続きの適正化の意識付けを行います。 ○契約適正化推進委員（案）選出の準備（規程作成等）を行います。
中間報告	○地方公共団体が行う契約方法（一般競争入札、指名競争入札等）の概要や、本市の契約規則に則った契約事務の流れなどをテーマにした研修の開催に向けて準備を進めています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	○平成30年10月4日開催予定の「平成31年度当初予算編成説明会」と併せ、地方公共団体が行う契約方法（一般競争入札、指名競争入札等）の概要、本市の契約規則に則った契約事務の流れ、また職員が契約事務を行う際に気をつけてほしい点などをテーマに研修会を実施します。 ○契約適正化推進委員（案）の役割、選出方法を精査、検討していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	情報セキュリティ内部監査員の拡充	
実行課	情報システム課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	情報セキュリティ内部監査員を拡充し、毎年実施している内部監査における対象課を増やします。
改革の手段	情報セキュリティ内部監査員養成研修を実施します。
改革により期待される効果	情報セキュリティ内部監査員を拡充し実際に監査してもらうことで、組織内に情報セキュリティに対する知識、行動、経験を蓄積することができ、情報セキュリティ対策の強化が図られます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	情報セキュリティ内部監査員養成研修を実施し、内部監査員を20人増やし監査対象課を5課から7課にします。
中間報告	今年度の内部監査までのスケジュール等の調整を課内で行いました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	10月 内部監査員養成研修及び内部監査業務委託業者の選定を行います。 1月 内部監査員養成研修を実施します。 2月 内部監査及び（対象課：7課）内部監査フォローアップを実施します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	徴収職員事例研修会の開催	
実行課	債権回収対策室	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	「徴収職員事例研修会」を開催し、職員のスキルアップを図ります。
改革の手段	徴収職員を対象とした事例研修会を定期的に行い、事例の発表や質疑を行います。
改革により期待される効果	○徴収ノウハウが組織間で共有できます。 ○知識集積により職員のスキルアップが図れます。 ○収納率の向上により、自主財源の確保につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	4ヶ月に1度、年間3回以上の開催を目指します。
中間報告	第1回目の徴収職員事例研修会を8月22日（水）、23日（木）に庁内の徴収事務を担当する職員を対象に開催しました。債権主管課から2日間で合計33名の参加があり、債権回収における基礎知識の説明（時効管理等）と事前に質問のあった事例についてグループに分かれ検討しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	開催時期、内容ともに未定ですが、第2回目、3回目の事例検討会を開催予定です。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	福祉窓口の多チャンネル化	
実行課	地域福祉課	改革達成年度（目標） 平成37年度

内 容	インターネット上等を含めて、市民が自身の日常生活に身近な所で情報を得たり、相談することができる体制を整備し、市民の利便性の向上を図ります。
改革の手段	市内に散在する介護保険事業所等の福祉関係事業者や、医療関係施設、商業施設等と協働し、市民に身近な相談窓口の拡大を図ります。また、多様な窓口からの情報を集約的に処理するために、分野を問わないインターク・アセスメントシートを作成し、多職種によるチームアプローチを促進します。
改革により期待される効果	市民の情報アクセシビリティが向上するとともに、支援に必要な情報等の効率的な共有と、課題を持つ世帯への早期介入ができるようになります。また、多職種連携により、福祉職員の資質向上にも繋がります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	地域福祉計画を策定するにあたり、福祉窓口の多チャンネル化の観点から、窓口での相談対応を基準化するための方策や、複合ニーズ世帯に対するチームアプローチの導入を施策化します。
中間報告	多効率的かつ効果的な総合相談支援体制の在り方及び運用にあたっての留意点等について検討するための協議体として、庁内の関係課の職員からなる「第2期本庄市地域福祉計画の策定に係る総合相談支援体制の構築に関するワーキンググループ」の協議の中で、多様な窓口経路に係る施策検討を行っています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	当該「ワーキンググループ」にて検討された内容を「第2期本庄市地域福祉計画」における庁内検討委員会及び審議会において議論し、同計画に反映させ、計画期間内での取り組みを決定します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	児童センターにおける備品購入費の弾力的運用	
実行課	子育て支援課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	3児童センターが相互にそれぞれの運営の特徴を把握し、必要な備品の検討・調整を行います。
改革の手段	備品購入費について、毎年度、一定の金額を設定します。その金額の範囲内で、子育て支援課及び3児童センターの調整により品目を決定し予算化を図ります。
改革により期待される効果	遊具類の充実化を図ることで、乳幼児親子や放課後児童が遊びの場として有意義な時間を過ごすことが期待できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	児童センター備品購入費の効果的な運用及び遊具類の充実。
中間報告	児童センター3館合わせた備品購入費は、632千円。今年度は、日の出児童センターでユニット砂場を214千円で購入し、来年度も児童センターで協議して高額備品の購入を検討しています。備品購入費の3館での総額を大きく変えることなく、継続して施設の備品の充実を図っていきます。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	購入した物品を適切に使用し、次年度以降の必要購入物品を検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見	単に年度毎の予算配分に終始した取組み及び報告になっているため、3館における物品の本来の需要状況や、館同士での物品の融通の可否等を再度精査した上で、現在の手法が最善かどうかを含め今後の手法について再検討すること。	

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	障害と介護の相談記録の共有ファイル化	
実行課	介護保険課	改革達成年度（目標） 平成31年度

内 容	障害福祉課と介護保険課が保有する相談支援内容等の情報を両課で活用できるよう情報の共有化を図ります。
改革の手段	障害福祉課と介護保険課で保有する相談支援内容等互いに活用し易くするため、障害福祉課と介護保険課の両課で打合せを行います。
改革により期待される効果	介護保険課で障害を持つ高齢者からの相談を受ける際、過去に障害福祉課が対象者とのように関わってきたか、また、現在両課でどのような支援状況にあるのか正しく把握でき、切れ目のない一貫した支援が可能になります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	共有化すべき情報（相談支援内容等）と管理のあり方、様式やツールについて検討します。
中間報告	第2期の地域福祉計画の策定作業が進められていますが、平成30年度に発足したワーキンググループ内でこれからの支援のあり方が話し合われました。方針では、介護・障害・子育て・母子保健・困窮等の保健福祉ごとの支援ではなく、横断的な相談支援を行う必要があるとの結論に至りました。切れ目のない一貫した支援を行うためには、しっかりとしたアセスメントが欠かせず、横断的な相談支援の視点にたったアセスメントシート等の共通様式を検討することが合意されました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ <u>検討中</u>
今後の対応（年度中の取組）	介護・障害の分野に限定せず、今後は保健福祉の多分野で連携し、切れ目のない包括支援の展開が望めます。地域福祉計画で検討する共通様式での管理の他に、介護保険・障害福祉課の両課で共有すべき情報があるか否か、引き続き検討を重ねます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおりに指摘</u>	自己評価を支持・下記のとおりに指摘
意 見	「検討する」という年度目標に対して、報告内容からは検討が進んでいる状況と判断できるため、自己評価については、「実行中（順調）」が適当である。	

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	公園施設のマネジメントの推進	
実行課	都市計画課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	子育て支援や健康増進、防犯・防災などの課題に対応するため、公園施設を最適化し、計画的、効果的かつ効率的に管理を行っていきます。
改革の手段	関連する部署との調整会議を開催します。
改革により期待される効果	公園規模に応じた役割を明確にし、利用者ニーズに応じた施設設置と公園の有効活用が図れます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	公園機能の方針策定に向け、関係部署との公園施設マネジメント会議を1回以上開催し、現状の課題について整理します。
中間報告	関係部署との会議実施に向け準備中。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ <u>検討中</u>
今後の対応 （年度中の 取組）	関係部署との会議を予定。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	デザイン性のある現場作業着の着用で抑止力・職員の連帯感向上を実現	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	現場業務に携わる都市整備部で協力を強化していき、犯罪などの抑止効果を高め、安全安心なまちづくりに取り組んでいきます。
改革の手段	一体感のある作業着（ユニフォーム）を着用して市の安全安心をPRしていきます。
改革により期待される効果	統一した作業着を外向きにさらすことにより、犯罪の減少にも繋がり、ひいては市民に親しまれ、信頼される市役所への実現が期待できます。さらに、このことにより職員の協調性、団結力が高まります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	組織的に取り組むべきか、企画課との調整を行います。
中間報告	どのようなものがよいか研究しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	埼玉県でも現場に出向く際、ネーム入りのベストを着用しています。本庄市でも同様なものが実現できるか調整を図っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	本庄市農産物PR	
実行課	農政課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	職員全体が、農産物の味・特色を理解し、本庄市セールスマンとしてブランド化と販路拡大を推進します。
改革の手段	本庄産農産物図柄入り等の名刺を作成し、名刺を活用し本庄市職員として本庄産農産物のPRを図ります。
改革により期待される効果	職員自ら、本庄産農産物は特においしいことを理解し、一般消費者に口コミで拡大し、知名度アップやPR活動の推進が図られます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	本庄産農産物図柄・QRコード等入りの職員名刺の作成（裏面の白紙部分等を活用）、はにぼん名刺への図柄等掲載により、様々な機会において本庄産農産物のPR発信を行います。
中間報告	農政課職員において、本庄市マスコットはにぼんが野菜を持ったデザイン図柄入り名刺を作成し、本庄野菜のPRを図っています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	図柄のみでなくキャッチフレーズやWebへの誘導等に繋げるように、名刺の裏面も活用して本庄農産物のPRを図っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目2 効率的・効果的な庁内連携>

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
---------	-------	---------

取りまとめ課	企画課	計画数	3
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！	広報課	平成35年度	実行中（順調）	自己評価を支持
2	市民アンケートの実施手順を標準化、情報を集約化しよう！	企画課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持
3	窓口アンケートの実施	企画課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持

<自己評価（H30中間）まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	3	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	3	100%

中間報告まとめ

広報アンケートの回答者の増加に繋がる環境づくり、各課で実施している市民アンケートの調査・分析、窓口アンケート実施に向けた情報収集等、3計画とも取組みは順調で、進捗は全体的に良好な状況といえます。

備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	3	100%
指摘あり	0	0%
計	3	100%

本部意見

全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
取りまとめ課	企画課	
計画名	分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！	
実行課	広報課	改革達成年度（目標） 平成35年度

内 容	分かりやすく読んでもらえる広報紙となっているか、市民の声を聞き、改善することで、広報紙をより有効な情報発信ツールにします。
改革の手段	広報アンケートの充実。ホームページによるアンケート機能・モニター制度を検討します。
改革により期待される効果	モニター制度により、意見を集約することができます。市民から親しまれる広報紙・利用しやすいホームページが作成されることで、情報の周知が向上します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	広報アンケートの充実。市職員や自治会役員等を対象としたモニター制度を検討します。QRコード等を作成するなど、アンケートに回答しやすい環境を作ります。ホームページリニューアルに向けアンケート機能を導入している市町村を対象に調査を行います。
中間報告	市内企業や商店等から商品を提供していただいたり広報アンケートへQRコードを掲載するなどし、アンケートへ回答する付加価値、環境を作り意見募集をしています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	ホームページリニューアルに向けアンケート機能を導入している市町村を対象に調査の実施や、ホームページへのアンケート機能追加を検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
取りまとめ課	企画課	
計画名	市民アンケートの実施手順を標準化、情報を集約化しよう！	
実行課	企画課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	市民を対象としたアンケート調査により、市民意向を効果的・効率的に把握します。
改革の手段	○市民アンケートの標準的な実施手順を定めます。 ○個々のアンケート内容と集計結果により市民意向を集約します。
改革により期待される効果	○市民アンケート実施手順等が明確化されることにより、職員の作業効率の向上が図られます。 ○市民アンケートデータを集約・分析することで、市民意向を反映した政策立案につなげることができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○市民アンケート実施手順等を策定します。 ○各課のアンケート実施予定を把握し、また、近年の各課のアンケート実施データを集約し、その実用性について分析します。
中間報告	○市民アンケート実施手順の標準化に向け、各課が実施したアンケート手法等の調査分析を進めています。 ○アンケート実施の集約化に向け、2ヵ年先までの各課のアンケート実施予定を把握しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	○市民アンケートの標準的な実施手順を定めます。 ○各課で近年、実施したアンケートデータをまとめ、市民意向を集約します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
取りまとめ課	企画課	
計画名	窓口アンケートの実施	
実行課	企画課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	本庄市行政改革大綱実施計画に基づく改革を実施した後、市民満足度を測る必要がある窓口等の対応についてアンケートを実施するなど、市民意見をきちんと把握することで、市民に真に評価される体制を目指していきます。
改革の手段	窓口等にアンケートBOXを一定の期間設置し、市民意見を聴取します。
改革により期待される効果	○市民の意見を改革に取り入れることができます。 ○市民から真に評価される対応を窓口等で行うことができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	窓口アンケートの実施手順等を策定し、アンケートBOXの設置を検討します。
中間報告	調査・研究を目的に他市町村で実施している窓口アンケートの事例等について情報収集を行い、その情報を参考に本市での実施方法やアンケート内容について検討しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	窓口アンケートの具体的な実施方法やアンケートの詳細について方針を決定し、アンケートBOXの設置を検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

＜基本方針２ 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞
＜実施項目３ 職員の意識向上＞

[illegible]

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No. 1 1	勤務体制の見直し
取りまとめ課	行政管理課	
計画名	朝型勤務の導入	
実行課	行政管理課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	事務の合理化やワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務形態への見直し等を図ります。
改革の手段	希望する職員については、業務に支障がない範囲で通常8時30分から17時15分の勤務時間を1時間又は30分早めて所属長が割り振る「朝型勤務」を導入します。
改革により期待される効果	○子育てや介護をしている職員にとって、より働きやすい職場となります。 ○自らの働き方を見直すことで、時間外勤務が減少し財政負担の軽減が図られます。 ○夕方の余暇時間が増加することで、家族や友人との団らんが深まりストレスの解消につながるだけでなく、自己啓発の時間としても有効に活用できます。 ○早朝の静かな時間帯から働くことで、作業効率が向上します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成31年度からの導入を目指し、より実効性のある制度とするため、職員組合との協議や衛生委員会での意見交換を行い、必要な例規の改正を行います。
中間報告	衛生委員会（7/10）及び次世代育成支援特定事業主行動計画策定等委員会（7/13）において、庁内各部署や職員組合から選出された委員に対し、制度の概要説明と意見交換を行いました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	職員組合との団体交渉（10月下旬を予定）で内容を協議し、必要に応じた例規の改正を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針 2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目 3 職員の意識向上

改革プログラム	No.11	勤務体制の見直し
取りまとめ課	行政管理課	
計画名	職員流動体制を利用しやすいものとする	
実行課	課税課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	本庄市職員の流動体制に関する要綱を活用し、職員の流動を図り、作業効率の向上、時間外勤務の削減に努めます。
改革の手段	係員以外でも行える業務について、係員相互の流動体制を図ります。
改革により期待される効果	人員の確保、作業効率の向上、時間外勤務の削減を図ることができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○繁忙期業務の調整を図り、各係の事務負担を軽減し、時間外業務の削減に努めます。 ○部内流動が行える業務について検証します。
中間報告	○当初課税（6月）までは、各係が事務の効率化を図ったうえで、係間の協力・連携により時間外業務が縮減できました。399時間（前年比▲330時間） ○部内流動の検証では、業務の洗い出し調査に着手し、土地・家屋などの現地調査や申告相談等の業務が対象になりました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	○各係の繁忙期には、自ら事務の効率化を図りつつ、係間の協力・連携により、時間外業務を縮減します。 ○部内流動の検証では、対象業務の部内流動可能性について、調査・検証します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目3 職員の意識向上>

改革プログラム	No.12	職員提案制度の活性化
---------	-------	------------

取りまとめ課	企画課	計画数	1
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	職員提案制度の活性化	企画課	永年継続	実行中（順調）	自己評価を支持

<自己評価（H30中間）まとめ>

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	1	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	1	100%

中間報告まとめ

上半期は工夫を凝らした内容で募集を行い、今後は提案件数のさらなる増加を目的に職員向けの説明会を開催する予定で、中間時点での進捗状況はおおむね順調といえます。

備 考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見

「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.12	職員提案制度の活性化
取りまとめ課	企画課	
計画名	職員提案制度の活性化	
実行課	企画課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	「本庄市職員提案規程」に基づいてアイデアを募集し、事務改善につなげていきます。
改革の手段	職員提案件数を増やすため、制度の見直しを行います。 また、職員向けに制度の説明会を開催するなど、制度を浸透させます。
改革により期待される効果	○職員自らの意識改革・行動改革につながります。 ○多くのアイデアが集まることにより、市役所の事務改善が進み、市民の利便性の向上につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	本制度を通じた改善が活性化されることを目指して制度の見直しを行い、また、職員向けに制度の説明会を開催し周知を図ることで、職員提案件数10件以上を目指します。
中間報告	今年度1回目の職員提案の募集を行いました。制度の活性化と件数の増加を目指し、わかりやすくポップな内容にしました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	職員向けに制度の説明会を行う予定です。仕組みをわかりやすくまとめ、職員提案のさらなる増を見込みます。また、説明会で職員提案制度への意見を求め、制度の強みと弱みを見つけ、制度の見直しにつなげます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調）・再検討・取り下げ / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記の通り指摘	自己評価を支持・下記の通り指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞

＜実施項目3 職員の意識向上＞

改革プログラム	No.13	若手職員の人材育成と活用
---------	-------	--------------

取りまとめ課	企画課	計画数	1
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	本庄市高校生プロジェクトへの若手職員の参加（真の人材育成事業として）	都市計画課	永年継続	達成（継続）	自己評価を支持

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	1	100%
実行中（順調）	0	0%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	1	100%

中間報告まとめ
若手職員の六校祭への参加は若手職員の政策立案能力の向上に繋がったと思われる、若手職員の人材育成としては効果的な機会となったため、改革は達成となります。
備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見
「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.13	若手職員の人材育成と活用
取りまとめ課	企画課	
計画名	本庄市高校生プロジェクトへの若手職員の参加（真の人材育成事業として）	
実行課	都市計画課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	○若手職員が吸収力のある時期に政策立案に関する事業などへ参加することで、これからの行政運営に必要な政策立案能力を伸ばす機会を増やします。
改革の手段	○高校生プロジェクト（六高祭）など、若手職員が、自ら企画・立案を行う事業等に参加することにより、実践経験の確保と、仕事に対するモチベーションの向上を図ります。
改革により期待される効果	○職員自らの意識改革・行動改革につながります。 ○市の事業に積極的に関わる意識につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	若手職員を対象に庁内メンバーを募集し、高校生の実行委員とともに市の魅力の発見、発信につながる企画の立案・実践や合同文化祭の運営を行います。
中間報告	7月29日に開催した第四回六高祭では、クラブ活動発表の他、「本庄織物」をテーマとしたファッションショーや本庄の農産物を使用した新作スイーツの開発などを行いました。高校生のアイデアをもとに、庁内メンバーそれぞれが持っているスキルや経験を企画内容に反映させることにより、若手職員の人材育成として効果的な機会とすることができました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	本事業への若手職員の参加は、高校生のアイデアを基に政策立案するという点で企画能力の向上に成果があったと思われます。今後は、11月に開催される最終会議の意見を踏まえ、次年度以降の庁内メンバーの選出方法や参加形態の検討を行っていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞

＜実施項目4 民間活力の活用＞

改革プログラム	No.14	民間委託等の導入
---------	-------	----------

取りまとめ課	企画課	計画数	3
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	改革達成年度 (目標)	自己評価 (H30中間)	行政改革推進本部 評価
1	民間活力の積極的な導入	建築開発課	永年継続	検討中	自己評価を支持
2	職員の事務量削減	建築開発課	平成34年度	実行中（取り下げ）	自己評価を支持
3	施設管理業務委託の見直し	総務課	平成34年度	実行中（順調）	自己評価を支持

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	1	33%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	1	33%
検討中	1	33%
計	3	100%

中間報告まとめ

前年の改善点を反映させ効率的・効果的な業務委託を実施するなど進捗が順調な計画、他市の状況調査の準備を進めている検討段階の計画、調査の結果、関係機関のシステム改修の必要性が判明したため実現が困難と判断し手段等を見直している計画があるという進捗状況です。

備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	3	100%
指摘あり	0	0%
計	3	100%

本部意見

全計画について「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目4 民間活力の活用

改革プログラム	No.14	民間委託等の導入
取りまとめ課	企画課	
計画名	民間活力の積極的な導入	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	建築行政事務について、民間活力を加速させて行政と民間の担うべき事務を明確にします。
改革の手段	○建築確認審査手続きに関し、民間への積極的な誘導を検討します。 ○建築パトロールの民間委託の検討をします。
改革により期待される効果	「民間でできることは民間で」の発想をもとに、行政で行うべきことを安全安心なまちづくりに力を注ぐことができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	外部委託や再任用などの活用、また他市の状況を調査・研究します。
中間報告	他市の状況を調査するための準備を進めています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ <u>検討中</u>
今後の対応 （年度中の 取組）	本市と同様な事務を行う近隣行政庁との調整を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目4 民間活力の活用

改革プログラム	No.14	民間委託等の導入
取りまとめ課	企画課	
計画名	職員の事務量削減	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	建築確認事務は民間への移行が進む一方、民間からの市へ提供される膨大なデータ入力作業が発生します。
改革の手段	業務委託について有効な対処方法を検討していきます。
改革により期待される効果	多くの事務量を要する入力作業が削減され、ひいては質の高い行政サービスの提供や事務の効率化につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	建築行政情報センターの建築確認等の共用データベースシステムを拡充できるか検討していきます。
中間報告	本庄市と民間の指定確認検査機関を結ぶ「通知・報告配信システム」を利用することにより、ペーパーレス化が実現し業務量の低減が見込まれますが、指定確認検査機関側の専用システムを改修しなければならず配信環境が整わないことが判明したため実現が困難な状況です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・ <u>取り下げ</u> ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	建築行政情報センターにペーパーレス化に向けた指定確認検査機関に対するシステム改修促進の要望を行います。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目4 民間活力の活用

改革プログラム	No.14	民間委託の導入
取りまとめ課	企画課	
計画名	施設管理業務委託の見直し	
実行課	総務課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	○市の業務について、民間のノウハウの積極的な活用や、業者間における競争原理の積極的な活用を図ります。
改革の手段	○市の業務の委託化等について、調査・研究を行ない、積極的な導入を検討していきます。
改革により期待される効果	○市民の利便性向上につながります。 ○質の高い行政サービスの提供や事務の効率化につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○施設管理業務委託の内容を精査し、仕様に反映させます。 ○改善点、改善の理由を明らかにし、次年度に引き継ぎます。
中間報告	施設管理業務委託の内容について、前年度実績に基づく改善点を仕様に反映させることで、より効率的・効果的な業務委託を実施しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の取組）	施設管理業務委託の今年度実績を評価することで、次年度に向けた改善点を明らかにします。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

本庄市行政改革大綱実施計画 H30中間取りまとめシート

＜基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞

＜実施項目5 男女共同参画＞

改革プログラム	No.15	男女共同参画の推進
---------	-------	-----------

取りまとめ課	市民活動推進課	計画数	1
--------	---------	-----	---

[illegible]

＜自己評価（H30中間）まとめ＞

評価区分	計画数	割合
達成（終了）	0	0%
達成（継続）	0	0%
実行中（順調）	1	100%
実行中（再検討）	0	0%
実行中（取り下げ）	0	0%
検討中	0	0%
計	1	100%

中間報告まとめ
グループウェアの掲示板で、各関係課長等に対し、審議会委員等の女性割合が3割を下回っている審議会等について、関係団体に推薦を依頼する際、依頼文書に男女共同参画の推進のため適任の女性の推薦について協力を求める旨の文言を盛り込むよう依頼しました。
備 考
審議会等の性質上、任期が2～3年と長く、それぞれ任期満了日が異なります。

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見
「自己評価を支持」とする。

※各計画への指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目5 男女共同参画

改革プログラム	No.15	男女共同参画の推進
取りまとめ課	市民活動推進課	
計画名	女性の意見を広く取り入れて施策や業務に活かそう	
実行課	市民活動推進課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	審議会委員等の選任にあたって、男女の比率で少ない方が3割を下回らないようにし、男性多数（女性少数）、女性多数（男性少数）の審議会等とならないよう努めます。
改革の手段	現状、女性委員の割合が少ない（平成29年4月1日時点22.9%）ことから、性別による意見の偏りの解消を目指し、関係団体に適任の女性の推薦について協力を求め、審議会委員等への女性登用を促進します。
改革により期待される効果	性別による偏りが無い意見を市政に反映することができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	審議会委員等の推薦を関係団体に依頼する際、依頼文書に男女共同参画の推進のため適任の女性の推薦について協力を求める旨の文言を入れ、平成31年4月1日時点で1.8ポイント以上の増加を目指します。
中間報告	グループウェアの掲示板で、各関係課長等に対し、審議会委員等の女性割合が3割を下回っている審議会等について、関係団体に推薦を依頼する際、依頼文書に男女共同参画の推進のため適任の女性の推薦について協力を求める旨の文言を盛り込むよう依頼しました。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	審議会等により任期満了日が異なるため、また欠員に伴う補欠委員の推薦依頼にも対応できるよう、定期的に各関係課長等に対してグループウェアの掲示板で依頼を行い周知します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

＜実施項目１ 自主財源の確保＞

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保
取りまとめ課	財政課	
計画名	未利用財産の処分・貸付	
実行課	財政課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	○売却見込みのある市有地を選定するなど、公有財産の有効利用等を図ります。
改革の手段	○入札事務を年2～3回（7月、10月、12月頃）実施します。 ○市有地販売情報をホームページに掲載するなど広く周知し、落札がない場合は随意契約による売却を図ります。
改革により期待される効果	○未利用の市有地を売却することにより、除草費用等の管理経費削減につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○売却見込みのある市有地を選定し、入札事務を年1回以上実施します。 ○市有地販売情報をホームページに掲載し、落札がない場合は随意契約による売却を図ります。 ○売却予定市有地一覧をホームページに掲載し、市有地の売却を図ります。
中間報告	○ホームページに掲載している売却予定私有地一覧を平成30年4月1日現在に更新し、平成29年度に入札事務を実施した2画地について、4月より8月まで随意契約による売却を図りましたが、申込みがありませんでした。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・ <u>再検討</u> ・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	○随意契約により売却できなかった2画地については、継続して売却を図ります。 ○売却見込みのある市有地の選定し、入札事務を実施します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保
取りまとめ課	財政課	
計画名	行政財産及び法定外公共物の運用と拡充計画	
実行課	道路管理課	改革達成年度（目標） 平成33年度

内 容	道路の残地、道路附帯地や、法定外公共物などについて払い下げや占用等の検討を行い、申請者に草刈などの管理の条件を付けることについても検討します。
改革の手段	残地や、法定外公共物などの、一定の範囲内において払い下げや占用等が管理などの条件付きで可能であることを広報などでPRします。
改革により期待される効果	・ 払い下げ料金や占用料など歳入の増加につながります。 ・ 草刈等の維持保全費用の削減につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	広報やインターネットなどPRの方法や問題点などについて検討します。
中間報告	本庄市内に点在する道路の残地等について場所を特定することが困難なことから、制度として、このような土地を活用するための払下げ等を行うことが可能であることをHP等で示していきます。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ）・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	払下げや占用の要件についてまとめ、HP等に掲載していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保
取りまとめ課	企画課	
計画名	聞いて納得。納めて安心。住みよい本庄市へ！	
実行課	課税課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	複雑な税制度を解りやすく説明し、納得していただいた上で納税していただきます。
改革の手段	広報誌やホームページ等の充実や租税教室等へ積極的に参加します。 各種研修等を活用し、職員のスキルアップを図ります。 チェック体制を徹底した正確な課税資料を整備します。
改革により期待される効果	課税制度の周知や適正な課税を行うことにより、市民の税に対する理解が深まり、納税意欲の高揚と市に対する信頼が得られます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○税制改正等制度の変更内容を広報誌やホームページを活用し、分かりやすくお知らせします。 ○各種専門研修への参加と係内研修に積極的に取り組みます。 ○課税誤りの防止のため、チェック体制を常に見直します。
中間報告	○広報誌とホームページに税制改正内容を掲載し、分かりやすく広報しました。 ○専門研修は9研修(20日間)に参加し、係内研修は14回実施しました。 ○担当者と別の職員(複数職員)がチェックする体制を整えています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	○ホームページの掲載内容を必要に応じて見直すとともに、分かりやすく広報します。 ○専門研修に積極的に参加するとともに、係内研修を随時開催します。 ○課税誤りの防止のため、チェック体制を常に見直し、マニュアル化を充実します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保	
取りまとめ課	企画課		
計画名	寄附金（基金）の活用実績の見える化		
実行課	広報課	改革達成年度（目標）	永年継続

内 容	基金の活用実績を具体的かつ分かりやすい表現で公表し、寄附者へ効果的な情報発信を行い、寄附文化を醸成し、本庄市への関心を高めます。
改革の手段	本庄市のホームページや広報及びふるさと納税ポータルサイトへ分かりやすい言葉や画像を取り入れ、寄附金の使途や活用実績を周知・公表します。
改革により期待される効果	○寄附金の使途の情報を分かりやすく提供することにより、市内外の方の「寄附したい」という意識を醸成でき、その結果として寄附額が増えることが期待できます。 ○基金の活用実績を公表することにより、寄附者からの信頼を得ることができます。また、各基金担当課も基金の活用内容をより充実したものにしなければならないという意識が働き、基金の効果的な活用が期待できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○まずは、年度当初（夏前）に広報課が所管する「ふるさと創生基金」の活用実績について、ホームページやふるさと納税ポータルサイトを分かりやすい表現へ変更します。 ○年度内に関係する他の5課（6基金）とも調整し、この改革プログラムの実行課として参画を促し、見える化を実現するよう、一定の決まりを作成します。
中間報告	ふるさと納税ポータルサイトの寄附の使い道について、画像などを添付し寄附者へより分かりやすいよう修正を行いました。活用実績については、まだ掲載ができていないため、できるだけ早い段階で掲載したいと考えます。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	年度内に関係する他の5課（6基金）と協議を行う際に、2カ年の特定事務事業評価シートにも記載したとおり、基金への寄附では無く事業への寄附を推進することを合わせて検討します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保
取りまとめ課	企画課	
計画名	口座振替推進キャンペーンの実施	
実行課	収納課	改革達成年度（目標） 平成30年度～平成31年度

内 容	口座振替推進キャンペーンを実施し、税収の増加を図ることにより、自主財源の確保に貢献します。
改革の手段	期間限定で口座振替を申し込んだ納税者に粗品を配付する等のキャンペーンを実施し、市税の口座振替件数を増やします。
改革により期待される効果	○納税額のアップとともに督促状発送等の費用や事務の削減効果も見込まれます。 ○安定した税収確保により少子高齢化・人口減少社会を迎える本庄市の未来を支えます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	平成30年度当初予算に計上したとおり、秋以降に1ヶ月程度、口座振替を申し込んだ納税者、先着約100名に粗品を配付します。
中間報告	平成30年9月～11月の期間中に口座振替を新規に申し込んだ方を対象に、抽選で30名に1,000円のQ U Oカードを進呈する「口座振替推進キャンペーン」を実施しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応 （年度中の 取組）	平成31年2月に当選した方へQ U Oカードを郵送します。また、口座振替件数の伸びや増加する見込みの収納額等、キャンペーンの効果を検証します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた 取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保
取りまとめ課	企画課	
計画名	ジェネリック薬品の利用促進により医療扶助の適正化・経費節減を図る	
実行課	生活自立支援課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	ジェネリック薬品の転換利用促進により、生活保護における医療扶助費の削減や生活困窮世帯の医療負担の軽減につなげます。
改革の手段	ジェネリック薬品の利用に関し、生活保護受給者や生活困窮者に説明し、理解と協力を得るとともに、医療機関にも働きかけ、転換利用の促進を図り、生活保護における医療扶助費の削減や生活困窮世帯の医療負担の軽減につなげます。
改革により期待される効果	○生活保護にあっては、医療扶助費の削減とともに、安定的な制度運営を実現します。 ○生活困窮者にあっては、医療負担の軽減につながることで、家計の安定を実現します。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	○生活保護では、ジェネリック薬品利用率80%、転換受給者50人を目指します。 ○生活困窮者自立支援では、過度な医療負担の世帯に対し利用を促すとともに、家計相談支援事業との連動により、ジェネリック薬品の転換効果10世帯を目指します。
中間報告	6月にジェネリック薬品使用促進の案内を生活保護世帯へ通知しました。また、家庭訪問時に、転換利用の説明と利用希望シールを配布しました。10月1日に法改正が実施されるため、医療機関等へ使用協力の通知を行いました。 生活困窮世帯には、適宜、相談時において転換利用を説明しています。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（ <u>順調</u> ・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	10月1日から法改正により、生活保護受給者のジェネリック薬品使用が原則化されました。再度、生活保護世帯へ通知及び訪問時に転換利用の説明を行います。また、生活困窮世帯においても、相談時に利用を促し、医療負担の軽減につなげていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保
取りまとめ課	企画課	
計画名	魅力ある市営住宅	
実行課	営繕住宅課	改革達成年度（目標） 永年継続

内 容	改修工事を、対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理に見直します。
改革の手段	長寿命化計画事業の年次計画を作成し、リノベーションを促進します。
改革により期待される効果	改修工事が進み、空家が減少し老朽化も改善できます。住宅困窮者や子育て世代に魅力ある住まいを提供でき、自主財源の確保につながり、工事費を削減できます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	本庄市営住宅長寿命化計画の見直しを行います。
中間報告	当該計画を改訂（平成31年度）するため、関係法令や補助基準を確認し、委託業務の予算化に向けて調査・検討を実施しています。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
今後の対応（年度中の取組）	現計画の進捗や成果を検証し、改訂する長寿命化計画の委託仕様に活用します。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保	
取りまとめ課	企画課		
計画名	学校給食残渣低減計画		
実行課	教育総務課	改革達成年度（目標）	平成34年度

内 容	子ども達に心身の健全な発達を図る上で学校給食が重要であることを理解させるとともに、食育の授業を通して子ども達に給食の献立案等を作成させるなど、給食事業にふれあう機会を設けることにより、給食の残渣を減らします。
改革の手段	食育に関する学習機会を増やすとともに、子ども達考案の献立を増やしていきます。
改革により期待される効果	心身の健全な発達に食生活がいかに重要であるかを子ども達に理解させることにより、学校給食の食べ残しを減らし、給食残渣の処理費用の削減を図ることができます。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	食育に関する学習や子ども達の献立作成による食への関心を高めることにより、自校方式給食による給食残渣量を51.8g/食（平成28年度比1%減）以下を目指します。
中間報告	栄養士による給食の献立内容の工夫や、学校の食育に関する取り組み等により、自校方式給食による給食残渣量は9月末までの実績で、目標数値を下回る44.9g/食を達成している状況です。
中間自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
今後の対応（年度中の取組）	残渣量低減の目標数値は達成していますが、年度途中の数値のため、今後の残渣量の推移に注意しながら、継続して献立や食育に工夫・改善をしながら、給食残渣量の低減に努めていきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続） / 実行中（順調・再検討・取り下げ） / 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおりに指摘</u>	自己評価を支持・下記のとおりに指摘
意 見	①給食センターと調整を図り、可能であればセンター方式による給食残渣についても計画の対象とすること。 ②中間報告時点では、あくまで年度途中（9月末）における数値のため、自己評価については、「実行中（順調）」が適当である。	

＜実施項目2 使用料・手数料等の見直し＞

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目2 使用料・手数料等の見直し

改革プログラム	No.18	適正な使用料・手数料等の設定
取りまとめ課	企画課	
計画名	手数料額が変わります	
実行課	建築開発課	改革達成年度（目標） 平成34年度

内 容	開発許可事務に「開発登録簿の写し」の交付があり、A3版を超えた場合も同額となっており、職員の手間や紙面の大きさからすると公平性に欠けます。負担公平の原則や受益者負担の原則を基本に、手数料について見直しを検討します。
改革の手段	他市との比較等による調査・研究を行います。
改革により期待される効果	公平性の確保と財政の健全化につながります。

【平成30年度 実施内容】

年度目標	他市との比較等による調査・研究を行います。
中間報告	今後、スキャニング（データ化）した「開発登録簿の写し」を交付するシステムを構築し、出力する図面サイズを縮小することにより、職員の手間や紙面の大きさを平準化していく方針が決まりました。
中間自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ <u>検討中</u>
今後の対応（年度中の取組）	「開発登録簿の写し」を交付するシステムの構築を検討していきます。
最終報告	
取組効果	
最終自己評価	達成（終了・継続）/ 実行中（順調・再検討・取り下げ）/ 検討中
次年度に向けた取組方針	

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・下記のとおり指摘
意 見		

＜全体集計＞

自己評価（H30中間）	評価区分	計画数	割合
	達成（終了）	2	3%
	達成（継続）	4	5%
	実行中（順調）	51	66%
	実行中（再検討）	4	5%
	実行中（取り下げ）	1	1%
	検討中	15	19%
計		77	100%

行政改革推進本部評価	評価区分	計画数	割合
	自己評価を支持	73	95%
	指摘あり	4	5%
計		77	100%